

龍谷大学 履修要項

各教育プログラム・諸課程

🔄 最終更新日：2026年9月4日

各教育プログラム・諸課程 メニュー

1. データサイエンス・AI教育プログラム

1. 「データサイエンス・AIリテラシープログラム」(全学部対象：2022年度以降入学生対象) 
数理・データサイエンス・AIを活用するための基礎的な知識・スキルを身に着けます。
2. 「データサイエンス・AI応用基礎プログラム」(全学部対象：2025年度以降入学生対象) 
自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得します。
3. 経営学部「データサイエンス・AI応用基礎プログラム」 
4. 先端理工学部「データサイエンス・AI応用基礎プログラム」 
5. 経済学部のデータサイエンスプログラム 

2. 留学について

>

留学の諸制度については、グローバル教育推進センターHPで確認してください。
不明な点については、グローバル教育推進センター窓口にお問い合わせください。

3. 単位互換制度

>

- 【1】大学コンソーシアム京都「単位互換制度」>
- 【2】環びわ湖大学・地域コンソーシアム「単位互換制度」>
- 【3】放送大学科目履修制度>

4. 就業体験を伴うプログラム

>

- 【1】大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」について>
- 【2】RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」について>

5. 諸課程

>

- 【1】教職課程>
- 【2】学校図書館司書教諭課程>
- 【3】図書館司書課程>
- 【4】本願寺派教師資格課程>
- 【5】博物館学芸員課程>

6. 特別研修講座・各種講座・試験

>

【1】 矯正・保護課程 >

【2】 法職課程 >

【3】 キャリア支援講座 >

【4】 手話講座 >

単位互換制度

【1】大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

大学コンソーシアム京都は、京都地域の大学および短期大学が各大学から特色ある科目を提供し、相互に科目履修のできる「単位互換制度」を運営しており、事業内容を年々充実すると共に継続的に発展させています。

この「単位互換制度」事業には、本学を含め約50の大学および短期大学が参加しており、これまでに多くの学生が参加しています。この教育プログラムの具体的な内容等の案内および出願手続きの資料等については、所属の学部教務課窓口にて確認してください。

1. 「単位互換制度」について

この事業のために用意された特定の授業のうち、所属学部が予め認定対象科目（ポータルサイト・掲示でお知らせします）として認めた科目を「単位互換履修生」として受講し、試験に合格すれば、下記の要領にしたがって単位が認定されます。2021年度からは、オンラインのみで受講できる科目も提供されています。受講料は無料です（ただし、科目により実習・演習料金等が別途必要となる場合があります）。

また、京都駅前の「キャンパスプラザ京都」においても「単位互換科目」としての授業科目が各大学から提供されています。

（1）資格要件

学部ごとに単位認定要件を設定し、その条件のもとに卒業要件単位として認定します。不明な点は所属の学部教務課窓口で確認してください。なお、一度、単位認定された科目を再度登録することはできません。

（2）出願手続きについて

「大学コンソーシアム京都 単位互換制度」で提供される授業の履修を希望する学生は、前期・後期・集中科目とも、3月下旬から4月初旬の指定された登録日に出願手続きをおこなってください。

出願手続きは、大学コンソーシアム京都のホームページの「単位互換・京カレッジポータルサイト」よりおこなってください。なお、受講機会拡大のため、後期科目の定員に余裕がある科目について9月中旬に後期追加登録をおこないます。

また、出願日については、龍谷大学ポータルサイトで確認してください。

科目開設大学の都合により、科目の性質から学部および学年など受講が制限される場合があります。受講資格については、大学コンソーシアム京都のホームページ「単位互換開講科目webシラバス」を参照してください。

（3）履修許可および履修手続き

申し込み者多数の場合は、選考（書類選考等）をおこなう場合があります。科目開設大学からの選考結果は4月末頃に掲示およびメールでお知らせします。後期追加登録は9月下旬に選考結果をお知らせします。許可を受けた者は、科目開設大学によっては、指定の期日までに所定の手続き（身分証明書用写真、実習費用の必要な場合には、費用の納入など）を必要とする場合もありますので、科目開設大学の指示に従ってください

（4）単位互換履修生の学籍およびその取り扱い

- ① 履修手続きを完了した者は、科目開設大学における「単位互換履修生」となります。
- ② 単位互換履修生は許可を受けた授業科目について受講することができ、当該科目についての試験に合格すれば、単位の認定を受けることができます。
- ③ 単位互換履修生は、自分が受講する科目開設大学の定める範囲において、履修期間中に限りその大学の施設（図書館等）を利用することができます。
- ④ 休講・補講・教室変更等の連絡は、大学コンソーシアム京都ホームページおよびメールでお知らせします。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都



(5) 試験について

試験期間は、科目開設大学の定めるところにより実施されますので、当該科目と本学の試験日時が重なることが判明した場合は、直ちに所属の学部教務課窓口にご相談ください。

なお、単位互換科目に関し本学定期試験と重なった場合の取扱いは以下のとおりです。

◎印は、卒業要件に関する科目（教職課程科目を含む）

○印は、随意科目として扱う科目

本学の授業科目	大学コンソーシアム科目	対応方法	本学の科目の追試対象	追試受験料
◎	◎	大学コンソーシアム科目を優先して受験させる	認める	免除
○	◎	大学コンソーシアム科目を優先して受験させる	認める	免除
◎	○	本学の科目を優先して受験すること。ただし、本人の判断により選択可能。	認める	必要
○	○	本人の判断により選択	認める	必要

(6) その他の注意事項

大学コンソーシアム京都の単位互換科目のほとんどは人数制限があり、希望者全員が受講できるものではありません。しかしながらその一方では、受講が許可されたにも関わらず受講を放棄する学生も多数います。許可された科目を放棄することは、受講を許可されなかった学生のみならず、科目開設大学にも大変な迷惑をかけることになります。出願にあたっては、途中で放棄することのないよう、キャンパス間の移動時間の確保も含めて慎重に科目を選択し、受講が許可された場合には必ず最後まで受講するようにしてください。大学コンソーシアム京都の単位互換科目の成績は全て、3月下旬に配付される第2学期（後期）分の成績表に記載されます。

各学部・学科・入学年度の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部	心理学部	経済学部
経営学部 経営学科 (2025年度以降入学生)	経営学部 経営学科 (2024年度以前入学生)	経営学部 商学科 (2025年度以降入学生)
法学部	政策学部	国際学部
社会学部 総合社会学科	社会学部 社会学科	社会学部 コミュニティマネジメント学科
社会学部 現代福祉学科	先端理工学部	理工学部
農学部		

■文学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次 (4年次生は随意科目として履修可能)	単年度で4単位。 ただし、この4単位には産学連携教育プログラム科目は含めません (各年次の履修制限単位には含まれません)。	(1) 教養教育科目 別途掲示でお知らせする科目のみです。 (2) 専攻科目 登録画面に表示される科目のうち、次の科目を除いたもの。 - 教養教育科目として掲示で指定した科目 - 単位数に小数点が含まれる科目 (例：1.5単位)	産学連携教育プログラム科目を含み、在学中12単位まで卒業要件単位として認定します。 超過分は卒業要件単位数には含まれませんので注意してください (随意科目となります)。 (1) 教養教育科目 選択科目【2015年度以降入学生】／教養科目【2014年度以前入学生】として4単位まで認定。 4単位を超えたものは随意科目として認定。 (2) 専攻科目 選択専攻科目として12単位まで認定 (ただし、教養教育科目として認定された単位数が4単位ある場合は8単位が上限となる)。	

■心理学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次 (4年次生は随意科目として履修可能)	単年度で4単位。ただし、この4単位には、大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」は含まない。	(1) 教養教育会議にて単位認定対象科目として承認された科目。 (2) 心理学部教授会にて単位認定対象科目として、承認された科目。	教養教育科目と専攻科目をあわせて8単位まで卒業要件単位として認定。 (1) 教養教育科目 選択科目として4単位まで認定。4単位を超えたものは随意科目とする。 (2) 専攻科目 選択専攻科目として8単位まで認定。専攻科目のみの修得で8単位を超えたもの、または教養教育科目とあわせて8単位を超えたものは随意科目とする。	本学と科目開設大学への移動時間が困難であると考えられる本学部科目との連続受講は不可とする。

■経済学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次生 (4年次生は随意科目として履修可能)	年間で登録できる単位数は、単位認定対象科目のうち8単位以内。 超過分は卒業要件単位にはならないので注意すること。 (履修登録制限単位数の対象外 (制限単位数を超えても履修登録可))	経済学部教授会が単位認定対象科目という予め認めた科目 ※3月下旬にポータルサイトで通知	(1) 教養教育科目 選択科目として4単位まで認定 (それを超えたものは随意科目) (2) 学部専攻科目 選択科目として12単位まで認定 (それを超えたものは随意科目)	重複登録 (本学で登録した科目と同一曜講時への登録を含む) や、授業実施場所 (大学等) への移動時間から受講が困難と考えられる場合は、受講を認めない。 単位認定対象科目以外の科目は、随意科目として受講を認める。

■経営学部 経営学科（2025年度以降入学生）

＜教養科目としての単位認定＞

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次	大学コンソーシアム京都科目は、履修登録制限単位に含まれません。 ただし、登録できる科目数は、単位数に係わらず各年次2科目までです （専攻科目の単位認定対象科目も含みます）。	教養教育会議にて「教養教育科目としての単位互換認定対象科目」と判断され、経営学部教授会があらかじめ認めた科目 （対象科目はポータルサイトで別途お知らせします）。	教養科目（教養教育科目の選択科目）として4単位まで認定します。 4単位を超えたものは随意科目扱いとなります。	重複登録（本学で登録した科目と同一曜講時に登録すること）や移動時間から受講が困難であると考えられる科目の受講はできません。 重複登録をした場合は、両方の科目とも無効になります。また、既に単位認定された科目を再度履修することはできません。 単位認定対象科目以外の科目は、随意科目として申し込みが可能です。

＜専攻科目としての単位認定＞

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
2・3年次	大学コンソーシアム京都科目は、履修登録制限単位に含まれません。 ただし、登録できる科目数は単位数に係わらず各年次2科目までです （教養科目の単位認定対象科目も含みます）。	経営学部教授会があらかじめ認めた科目 （対象科目はポータルサイトで別途お知らせします）。	学科選択科目として4単位まで認定します。 4単位を超えたものは随意科目扱いとなります。	重複登録（本学で登録した科目と同一曜講時に登録すること）や移動時間から受講が困難であると考えられる科目の受講はできません。 重複登録をした場合は、両方の科目とも無効になります。 また、既に単位認定された科目を再度履修することはできません。 単位認定対象科目以外の科目は、随意科目として申し込みが可能です。

■経営学部 経営学科（2024年度以前入学生）

＜教養科目としての単位認定＞

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次	大学コンソーシアム京都科目は、履修登録制限単位に含まれません。 ただし、登録できる科目数は、単位数に係わらず各年次2科目までです （専攻科目の単位認定対象科目も含みます）。	教養教育会議にて「教養教育科目としての単位互換認定対象科目」と判断され、経営学部教授会があらかじめ認めた科目（対象科目はポータルサイトで別途お知らせします）。	教養科目（教養教育科目の選択科目）として4単位まで認定します。 4単位を超えたものは随意科目扱いとなります。	重複登録（本学で登録した科目と同一曜講時に登録すること）や移動時間から受講が困難であると考えられる科目の受講はできません。 重複登録をした場合は、両方の科目とも無効になります。 また、既に単位認定された科目を再度履修することはできません。 単位認定対象科目以外の科目は、随意科目として申し込みが可能です。

				目は、随意科目として申し込みが可能です。
--	--	--	--	----------------------

＜専攻科目としての単位認定＞

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
2・3年次	大学コンソーシアム京都科目は、履修登録制限単位に含まれません。 ただし、登録できる科目数は、単位数に係わらず各年次2科目までです (教養科目の単位認定対象科目も含まれます)。	経営学部教授会があらかじめ認めた科目 (対象科目はポータルサイトで別途お知らせします)。	学科選択科目(ただし、会計コース生は、コース選択科目)として4単位まで認定します。 4単位を超えたものは随意科目扱いとなります。	重複登録(本学で登録した科目と同一曜講時に登録すること)や移動時間から受講が困難であると考えられる科目の受講はできません。 重複登録をした場合は、両方の科目とも無効になります。 また、既に単位認定された科目を再度履修することはできません。 単位認定対象科目以外の科目は、随意科目として申し込みが可能です。

■経営学部 商学科 (2025年度以降入学生)

大学コンソーシアム京都単位互換科目の履修はできません。

■法学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年生 (4年生以上は随意科目としてのみ受講可)	年間登録は8単位以内であり、履修登録制限単位数には含まれません。 (注) 随意科目として受講する場合でも年間登録は8単位以内です。	法学部教授会が予め認めた科目	教養科目として4単位、コア科目以外の法学部専攻科目として4単位、4年間で8単位まで認定します。 ※卒業要件単位としての認定は、「大学コンソーシアム京都単位互換科目」、「放送大学科目」を含め8単位を上限とします。8単位を超えて履修した場合、教養教育科目として4単位、コア科目以外の法学部専攻科目として4単位を超えて履修した場合は随意科目として認定します。	重複登録(本学で登録した科目と同一曜講時に登録すること)や移動時間から受講が困難であると考えられる場合は受講を認めません。認定対象科目以外の受講については、随意科目としての受講を認めます。

■政策学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
------	----------	------	------	-----

1～3年次生（4年次以上は随意科目としてのみ受講可）	年間登録は6単位以内であり、履修登録制限単位数には含みません。 ※随意科目として受講する場合でも年間登録は6単位以内とします。	政策学部教授会が予め認めた科目 ※認定対象科目以外の受講については、随意科目としての受講を認める。 ※認定科目については単位互換募集に係るポータルサイト「お知らせ」をご確認下さい。	教養科目もしくはコア科目以外の政策学部専攻科目として6単位認定します。（超過分は随意科目として認定） ※ただし、卒業要件単位としては「大学コンソーシアム京都単位互換科目」「放送大学科目」を合わせた上限8単位までの認定となりますので注意してください。	本学開講科目の履修登録や移動時間等を十分考慮の上、登録を行ってください。
----------------------------	--	--	---	--------------------------------------

■国際学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
2～3年次 （4年次以上は随意科目として履修可能）	各年次の履修制限単位には含めない。単年度の履修登録は4単位までとする。	国際学部教務委員会にて単位認定対象科目として承認された科目。 ※履修可能科目については、4月上旬にポータルにて周知する。	各年度4単位を上限とし、国際学部にて開講される科目に読み替えて認定する。卒業要件単位認定の上限は8単位。	本学と科目開設大学への移動時間が困難であると考えられる本学部科目との連続受講は不可とする。また、学部の履修上、特定の科目を対象外とする場合がある。その場合は、該当科目を掲示する。 【注意事項】 ① 1年次生は履修できません。 ② 単位認定を希望する場合は本学部で開講している科目から類似している科目を選択し、科目読替申請を行う必要があります。詳しくは学部教務課で配布する単位互換科目読替申請書類で確認して下さい。 <科目読替の原則> ・既に履修済み、または履修登録中の科目を除く ・配当年次が合致している ・本学部科目担当者が同等の学修内容と認める場合に限る

■社会学部 総合社会学科

大学コンソーシアム京都単位互換科目の履修はできません。

■社会学部 社会学科

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次生 （卒業年次生は卒業判定に関わるため随意科目扱い）	履修登録制限単位数には含めません。	社会学部教授会があらかじめ認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	教養教育科目の選択科目「特別講座」として8単位、専攻科目の選択科目「特別講座」として8単位、合計16単位までを卒業	本学部開講科目と単位互換科目との開講曜講時が重複しないよう、また本学と科目開設大学との移動時間

			要件単位として認定します。 ※制度にかかわらず「特別講座」として、卒業要件に認定される単位数は、上限16単位となります。 ※たとえ卒業要件単位として認定される場合でも、単位数の上限を超えて履修した場合、随意科目となります。 卒業要件単位として認定可能と判断された科目については、各年次に2科目まで認定します。	等、慎重に考慮したうえで科目を選択すること。
--	--	--	--	------------------------

■社会学部 コミュニティマネジメント学科

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次生 (卒業年次生は卒業判定に関わるため随意科目扱い)	履修登録制限単位数には含めません。	社会学部教授会があらかじめ認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	教養教育科目の選択科目「特別講座」もしくは専攻科目の選択科目「特別講座」として、合計12単位までを卒業要件単位として認定します。 ※制度にかかわらず「特別講座」として、卒業要件に認定される単位数は、上限12単位となります。 ※たとえ卒業要件単位として認定される科目でも、単位数の上限を超えて履修した場合、随意科目となります。	本学部開講科目と単位互換科目との開講曜講時が重複しないよう、また本学と科目開設大学との移動時間等、慎重に考慮したうえで科目を選択すること。

■社会学部 現代福祉学科

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次生 (卒業年次生は卒業判定に関わるため随意科目扱い)	履修登録制限単位数には含めません。	社会学部教授会があらかじめ認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	教養教育科目の選択科目「特別講座」として8単位、専攻科目の選択科目「特別講座」として4単位、合計12単位までを卒業要件単位として認定します。 ※制度にかかわらず「特別講座」として、卒業要件に認定される単位数は、上限12単位となります。 ※たとえ卒業要件単位として認定される場合でも、単位数の上限を超えて履修した場合、随意科目となります。	本学部開講科目と単位互換科目との開講曜講時が重複しないよう、また本学と科目開設大学との移動時間等、慎重に考慮したうえで科目を選択すること。

■先端理工学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1年次生～3年次生 (卒業年次生は随意科目として受講可)	大学コンソーシアム京都の単位互換科目と環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換科目を合わせて在学期間中に上限8単位まで履修を認める。 履修登録制限単位には含まない。	先端理工学部教務委員会にて単位認定対象科目として認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	通常の「教養教育科目特別講義」として単位を認定する。 ※「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは1科目2単位までです。（余剰分はフリーゾーンに計上されません。）	

■理工学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1年次生～3年次生 (卒業年次生は随意科目として受講可)	大学コンソーシアム京都の単位互換科目と環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換科目を合わせて在学期間中に上限8単位まで履修を認める。 履修登録制限単位には含まない。	先端理工学部教務委員会にて単位認定対象科目として認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	<数理情報学科> 在学期間中にフリーゾーン科目として上限2単位まで単位を認定する。 <機械システム工学科> 【2008～2013年度入学生】 自由選択科目として上限2単位まで単位を認定する。 【2014年度以降入学生】 随意科目として単位を認定する。 <電子情報学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科> 【2008～2014年度入学生】 在学期間中に教養教育科目の総合科目として上限2単位まで単位を認定する。 【2015年度以降入学生】 在学期間中に教養教育科目の選択科目として上限2単位まで単位を認定する。	

■農学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
------	----------	------	------	-----

1～3年次生	履修登録制限外とする。	「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、農学部教授会にて、学則に定める専攻科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目	各年次において、4単位（3年で12単位）を上限として認定する。	
--------	-------------	---	---------------------------------	--

【2】環びわ湖大学・地域コンソーシアム「単位互換制度」

環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度が提供する科目を履修し、それを単位として認定する制度です。

この制度では滋賀県特有の内容をテーマにした科目や各大学や短期大学の学部・学科・専攻の特徴的な科目が提供されています。大学の学生は大学の定める範囲において、単位互換科目を受講することができます。

1. 資格要件

履修条件は、学部毎に異なりますので、単位認定要件を確認してください。

なお、不明な点は所属の学部教務課で確認してください。

2. 出願手続きについて

環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換制度で提供される科目の履修を希望する学生は、指定された登録期限日までに出願手続きを行ってください。出願書類は、環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページより「環びわ湖大学・地域コンソーシアム 単位互換履修生 出願票」をダウンロードし、1科目1枚として、所属の学部教務課の窓口に出呈してください。

受講料は、実習費等が別途必要な場合を除いて無料です。ただし、実習費等が必要な科目については、履修許可通知が届いた後、科目開設大学の指示にしたがって納入してください。

3. 履修許可および履修手続きについて

出願者多数の場合は、科目開設大学において選考が行われ（原則として、出願票に各自が記載した「志望理由」をもとに選考されます）、選考結果は大学を通じて出願者に通知します。許可通知は4月末頃の予定です。前期科目の場合、出願して履修許可通知があるまでの4月前半に授業が開始されることがあります。この場合、履修許可通知があるまでは、その出願科目を仮受講してください。

許可通知の後、科目開設大学によっては写真提出等の別途手続きを必要とする場合もありますので、科目開設大学の指示に従ってください。

4. 休講・補講・教室変更の連絡について

※休講・補講・教室変更等は、所属の学部教務課で確認してください

各学部・学科・入学年度の詳細につきましては、下記をご確認ください。

先端理工学部	理工学部	農学部
--------	------	-----

■先端理工学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1年次生～3年次生 （卒業年次生は随意）	大学コンソーシアム京都の単位互換科目と環びわ湖大	先端理工学部教務委員会にて単位認定対象科目として	通常の「教養教育科目特別講義」として単位を認定す	

科目として受講可)	学・地域コンソーシアムの単位互換科目を合わせて在学期間中に上限8単位まで履修を認める。 履修登録制限単位には含まない。	認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	る。 ※「教養教育科目特別講義」は複数の科目が開講されますが、卒業要件単位として認められるのは1科目2単位までです。（余剰分はフリーゾーンに計上されません。）	
-----------	--	-----------------------------	--	--

■理工学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1年次生～3年次生 (卒業年次生は随意科目として受講可)	大学コンソーシアム京都の単位互換科目と環びわ湖大学・地域コンソーシアムの単位互換科目を合わせて在学期間中に上限8単位まで履修を認める。 履修登録制限単位には含まない。	先端理工学部教務委員会にて単位認定対象科目として認めた科目（別途、ポータルサイト等でお知らせします）。	＜数理情報学科＞ 在学期間中にフリーゾーン科目として上限2単位まで単位を認定する。 ＜機械システム工学科＞ 【2008～2013年度入学生】 自由選択科目として上限2単位まで単位を認定する。 【2014年度以降入学生】 随意科目として単位を認定する。 ＜電子情報学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科＞ 【2008～2014年度入学生】 在学期間中に教養教育科目の総合科目として上限2単位まで単位を認定する。 【2015年度以降入学生】 在学期間中に教養教育科目の選択科目として上限2単位まで単位を認定する。	

■農学部

対象学年	登録可能な単位数	対象科目	単位認定	その他
1～3年次生	履修登録制限外とする。	「大学コンソーシアム京都」及び「環びわ湖大学・地域コンソーシアム」の単位互換科目のうち、農学部教授会にて、学則に定める専攻科目のいずれかと読み替えて認定することが可能と判断された科目	各年次において、4単位（3年で12単位）を上限として認定する。	

【3】放送大学科目履修制度

【学部：文学部、経済学部、法学部、政策学部、理工学部、社会学部コミュニティマネジメント学科、適用】

【大学院：経済学研究科、法学研究科、政策学研究科、適用】

放送大学とは、テレビ・ラジオまたその記録媒体等を効果的に活用して、大学教育の機会を多くの人々に提供していく正規の大学で、放送大学学園法に基づき設立されています。

本学と放送大学が単位互換に関する協定を締結したことにより、学生は、本学部が指定した「放送大学科目」を受講することによって取得した単位を卒業要件単位として認定されます。この「放送大学科目」を受講する学生は、放送大学では「特別聴講学生」として扱われます。受講希望者は下記要領を熟読の上、所定の手続きをしてください。

なお、受講にあたっては、学部：2単位科目12,000円、大学院：2単位科目24,000円、4単位科目48,000円の授業料が必要になります。

1. 履修方法および単位認定等について

(1) 出願および履修期間

「特別聴講学生」の履修期間は、2セメ（法学部を除く）、4セメ、6セメ(1、2、3年後期)の1学期間（6ヶ月）です。特別聴講学生出願票は所属の学部教務課窓口にあります。

出願および履修・試験期間は次のとおりです。

出願期間	履修期間	単位認定試験期間
6月頃（予定）	10月～翌年1月（予定）	1月下旬（予定） 不合格の場合、同年7月下旬～8月に行われる単位認定試験（再試験）を受験することができます。（無料）

(2) 単位認定対象となる放送大学科目

放送大学科目で単位認定対象となる科目は、履修要項等でお知らせします。

<DVD、CDの視聴について>

深草学舎	5号館2・3階セルフラーニング室で、DVDおよびCDの視聴ができます。 また、各都道府県に設置されている学習センターでの視聴も可能です。 学習センター内での視聴はどの都道府県でも可能ですが、貸出については、所属学習センター（本学の場合は京都学習センター）のみとなります。
瀬田学舎	4号館1階にある放送大学滋賀学習センターで、DVDおよびCDの視聴ができます。 学習センター内での視聴はどの都道府県でも可能ですが、貸出については、所属学習センター（滋賀学習センター）のみとなります。

(3) 学期毎の履修制限

履修制限単位数には含みません。

(4) 履修方法

学期開始までに送付される印刷教材と本学ならびに学習センターに設置されているDVDおよびCDによる視聴および通信指導によって学習し、学期末に本学において単位認定試験を受けることになります。

通信指導とは、原則15回の放送授業のうち8回まで学習を終え、放送大学から通知される課題についてレポートを放送大学に提出し、放送大学教員による採点・評価・指導を受ける通信添削です。この通信指導に合格しなければ、単位認定試験は受験できません。

(5) 単位認定試験について

単位認定試験は、例年1月下旬頃に実施する予定です。

試験は、原則として所属学習センターで受験することになります。

深草・大宮学舎の学生は、「京都学習センター（京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）3階）」瀬田学舎の学生は、「滋賀学習センター（瀬田学舎4号館1階）」の所属となります。

事情により所属以外の学習センター等で受験を希望する場合は、「特別聴講学生出願票」に希望場所のコードを記入の上、提出してく

ださい。

その他の詳細については、学部教務課窓口で確認ください。

なお、試験当日欠席した場合は、追試験制度はありませんので、次学期で再試験を受験してください。（「(8) 再試験について」を参照。）

(6) 単位の認定

成績表は放送大学から本人および本学に通知されます。本学は成績等を確認の上、単位認定します。

(7) 単位取得

試験の結果、60点以上を合格とし単位を認定します。

なお、放送大学の成績評価は、④、A,B,C（合格）、D,E（不合格）等の標記によって通知されるため、本学では次のような素点換算により本学成績表に表示します。

放送大学	本学素点換算
④ (90点以上)	95
A (89～80点)	85
B (79～70点)	75
C (69～60点)	65
D (59～50点)	55
E (49点以下)	45
未（未受験）	0
否（受験資格無）	0

(8) 再履修（再試験）について

放送大学では、次学期（3セメ、5セメ、7セメ）において再履修（再試験）制度があります。

この制度は単位認定試験や通信指導において不合格になった場合（試験欠席、通信レポート未提出も含む）、次学期の1回に限り再試験の受験ならびに通信レポートの再提出ができます。

次学期での再試験を希望する場合は、放送大学に対する手続きは不要ですが、本学の履修登録で放送大学科目の登録をしなければなりません。

なお、再試験は、例年7月下旬～8月上旬に実施されます。

詳しくは放送大学のホームページ（<http://www.ouj.ac.jp>）で確認してください。

(9) 放送大学科目の試験と本学の試験日時が重なった場合

放送大学科目の試験期間は本学と同じ時期に実施されます。このことにより、放送大学科目と本学科目の試験時間が重なった場合は、原則として放送大学科目を優先して受験し、本学科目については、追試験で受験してください。

なお、この場合に限り、追試験の適用を次のとおりとします。

(ア)追試験の受験料は無料です。

(イ)諸課程科目についても実施の対象になります。

※その他については、通常の追試験制度に準じます。

2. 放送大学への出願および本学での履修登録について

(1) 放送大学科目出願について

受講希望者は、出願期間に「特別聴講学生出願票」を所属する学部教務課窓口に提出してください。放送大学科目は、出願期間までに単位認定試験の時間割が発表されていますので、試験日・時限を確認の上、出願してください。

(2) 学費について

入学科は無料ですが、授業料として学部：2単位科目12,000円（テキスト費込）、大学院：2単位科目24,000円（テキスト費込）、4単位科目48,000円（テキスト費込）が必要です。出願後、放送大学から送付されてくる用紙にて、直接、納入してください。

（3）本学での履修登録について

放送大学科目を受講する場合は、「特別聴講学生出願票」の提出の他に本学の履修登録で放送大学科目を登録しなければなりません。
また、次学期で再試験を受験する場合も同様に履修登録してください。
履修登録（本登録）をしないで単位認定試験および再試験を受験し合格しても、本学の単位として認定されないの注意してください。

3. 龍谷大学以外での学習方法

（1）視聴方法

テレビ・ラジオともBSデジタル放送やケーブルテレビにより全国どこでも受信できます。ケーブルテレビで視聴するには、お住まいのケーブルテレビ局の配信状況を確認してください。また、視聴方法等については、それぞれのケーブル局に確認してください。

（2）再視聴

所定の時間帯に視聴できなかった場合や、繰り返し学習したい場合は、都合の良い日に視聴することが出来ます。
学習センターは土曜日、日曜日も利用できます。（月曜日、祝日休み）
所属する学習センターでは、DVDおよびCDの貸出を受けることが出来ます。
※なお、学習センターの利用に際しては放送大学の学生証を必ず持参してください。

（3）京都学習センターの所在地

「京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）」内3階
京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町939番地（JR京都駅前）

（4）滋賀学習センターの所在地

瀬田学舎4号館1階

4. 出願から成績評価までの流れ

出願後の手続きについては、後日、放送大学から自宅に書類が送付されますので、そちらでご確認ください。

<参考>

※以下の日程はすべて予定です。

（1）放送大学科目の登録手続き

出願・科目登録申請	6月下旬	所属の学部教務課窓口
授業料の払込み	9月上旬	後日、自宅に送付されてくる用紙で振込んでください。
教材の配付	学費納入確認後随時	放送大学から自宅に送付されます。
学生証の交付	学費納入確認後随時	自宅に送付されてくる入学許可書を所属学習センターへ持参し、交付を受けてください。
履修登録（本学）	日程については、ポータルサイトで確認してください。	所属の学部教務課窓口

（2）受講および単位認定試験等について

授業開始（15回）	10月1日頃～	本学(深草学舎)5号館2階・3階セルフラーニング室 および学習センター
通信指導問題の送付	11月上旬まで	放送大学から自宅に送付されます。

通信指導解答の提出	12月上旬まで	放送大学へ直接提出。8回まで視聴を終了してください。
通信指導添削の返送	1月中旬	放送大学→学生
単位認定試験通知	1月中旬	放送大学→学生
放送授業終了	1月下旬	
単位認定試験	1月下旬	試験の場所等詳細は学部教務課に確認してください。
成績通知	3月上旬	放送大学→学生

※単位認定試験ならびに通信指導を不合格になった場合は、次学期（3セメ、5セメ、7セメ）で1回限り、再試験ならびに通信レポートの再提出ができます。

放送大学への手続きは不要ですが、本学の履修登録で「放送大学科目」を登録してください。

履修登録をせず再試験に合格しても、本学の単位として認定されませんので注意してください。

※日程は目安です。詳細は学部教務課の掲示板をご確認ください。

各学部・学科・入学年度の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部	経済学部	法学部
政策学部	社会学部 総合社会学科	社会学部 社会学科
社会学部 コミュニティマネジメント学科	社会学部 現代福祉学科	理工学部

■文学部

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
国際理解のために（'19）	選択専攻科目として8単位まで認定	基盤科目			
問題解決の進め方（'25）					
生活経済学（'25）					
疾病の回復を促進する薬（'25）		導入科目（生活と福祉）			
公衆衛生（'24）		専門科目（生活と福祉）			
錯覚の科学（'20）		専門科目（心理と教育）			
民法（'22）		専門科目（社会と産業）			
Webのしくみと応用（'25）		専門科目（情報）			

■経済学部

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
生活環境情報の表現－GIS 入門	学部専攻科目（選択科目） として上限8単位まで認定 ※超過分は卒業要件単位に はならないので注意すること。		（オンライン）	1	※ 単位認定対象科目以外の 科目を履修することは可能 だが、卒業要件単位にはな らないので注意すること。 ただし、前学期（2セメ、4 セメ、6セメ）において不合 格となった科目の再試験に 合格した場合は、前学期時 点の単位認定対象科目に沿 って単位認定を行う。
貧困の諸相			（ラジオ）	2	
社会調査の基礎			（テレビ）	2	
現代経済理論			（テレビ）	2	
持続可能な社会のための財 政学			（テレビ）	2	
金融と社会			（テレビ）	2	
SDG s 下のアジア産業論			（ラジオ）	2	
ファイナンス入門			（テレビ）	2	
Rで学ぶ確率統計			（オンライン）	1	
データの分析と知識発見			（テレビ）	2	

■法学部

配当セメスターまたは対象学年：4セメスター、6セメスター

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
著作権法（'22）	コア科目以外の法学部専攻 科目として8単位まで認定				※卒業要件単位としての 認定は、「大学コンソーシ アム京都・単位互換科 目」、「放送大学科目」を 含め、8単位を上限としま す。8単位を超えて履修し た場合は、随意科目とし て認定します（超過分は 卒業要件単位数に含まれ ないので注意してくださ い）。
NPO・NGOの世界（'25）					
情報と法（'23）					
日本政治外交史（'25）					
災害社会学（'20）					
AIシステムと人・社会との 関係（'20）					

■政策学部

配当セメスターまたは対象学年：1～3年生

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
社会福祉－新しい地平を拓 く（'22）	専攻科目8単位まで			2	※コア科目以外の政策学 部専攻として、8単位まで 認定します。超過分は卒
高齢期を支える（'23）				2	

地域福祉の課題と展望（'22）				2	業要件単位数に含まれないので注意してください。（随意科目扱いとなります） ※「大学コンソーシアム京都単位互換科目」、「放送大学科目」を含め8単位を上限とします。
社会政策の国際動向と日本の位置（'23）				2	
支える社会保障（'26）				2	
子どもの人権をどうまもるのか（'21）				2	
貧困の諸相（'23）				2	
Rで学ぶ確率統計（'21）				2	
現代のフードシステム（'26）				2	

■社会学部 総合社会学科

履修できません。

■社会学部 社会学科

卒業要件単位としては認定されません。

■社会学部 コミュニティマネジメント学科

配当セメスターまたは対象学年：1～3年次生（2・4・6セメスターの1学期間）

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
放送大学教養学部開講科目の全てを対象とします。	専攻科目として12単位までを卒業要件単位として認定します。 ※超過分は卒業要件単位数に含まれず、随意科目扱いとなります。				履修登録制限単位数には含めません。 出願期間が近づいたら、ポータルサイト等で詳細を掲示します。

■社会学部 現代福祉学科

卒業要件単位としては認定されません。

■理工学部全学科

配当セメスターまたは対象学年：全学年

科目名称	卒業要件に参入できる 上限単位数	放送大学における 科目区分	メディア	単位	その他
------	---------------------	------------------	------	----	-----

全ての放送大学（教養学部） 開講科目		—	—	—	履修登録制限単位数に含まない。 随意科目として4単位まで、 単位を認定する。
-----------------------	--	---	---	---	--

就業体験を伴うプログラム

【1】大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」について

大学コンソーシアム京都では、学生が在学中に京都地域を中心とした企業や行政機関および非営利組織等において就業体験をする「産学連携教育プログラム」を開講しています。この「産学連携教育プログラム」には、本学を含め約50の大学および短期大学から多くの学生が参加しています。

プログラムの具体的な内容や出願手続きについては、「大学コンソーシアム京都 産学連携教育プログラム ポータルサイト」を確認してください。

大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」について

大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」の最終評価に合格すれば、各学部が定める資格要件にもとづいて単位が認定されます。大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」の受講を希望する学生は、本学の授業や定期試験等と日程が重なることも考えられますので所属の学部教務課窓口で事前に相談してください。

大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」では、以下のコースが用意されています。

（1）「エクスターンシップ（就業体験）コース」

8月～9月中旬に、企業・行政機関・非営利組織において2週間（実働10日）以上の実習を行うコースです。

［事前学習］→［実習］→［事後学習］という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性や職業観を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指します。

（2）「プロジェクト企画実践コース」

6月中旬～11月中旬にかけて、企業・行政機関・非営利組織が提示するテーマの課題やプロジェクトに取り組むコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることが目標です。

1. 資格要件

学部ごとに資格要件を定めていますので、各学部の詳細欄で確認してください。

2. 出願について

「大学コンソーシアム京都 産学連携教育プログラム ポータルサイト」を確認のうえ、WEBにて出願してください。

3. 講義計画について

（1）「エクスターンシップ（就業体験）コース」

事前学習・事後学習では、業界・業種別、或いは行政・非営利組織別にクラスを編成し、他大学の学生と共に業界研究やディスカッション等を行うことで、目標達成に向かいます。

2026年度講義計画

（2）「プロジェクト企画実践コース」

受入先が提示したプロジェクトのテーマに沿って成果重視の活動を行うプログラムとなっており、受入先にとってもメリットとなっています。そのため専門性や独創性および協調性が求められます。講義では、具体的にプロジェクトを推進しながら目標を修正し、その

つど受入先とすりあわせながら検討を重ねていきます。

2026年度講義計画

4. 実習先の決定について

大学コンソーシアム京都産学連携教育事業推進室のコーディネーター（大学教員）が面接をおこない、学生の希望や適正を考慮して決定されます。この際、受入人数等によって、希望する業界や職種で実習できない場合があることを理解しておいてください。

5. 定期試験及び追試験受験資格の認定

受入先の都合により、やむを得ず実習期間と定期試験日時が重なることがあります。

当該実習と定期試験日時が重なることが判明した場合は、直ちに所属の学部教務課窓口にご相談してください。なお、実習期間が本学定期試験と重なった場合の取扱い、次のとおりです。

本学の 授業科目	大学コンソーシアム 京都 産学連携教育プログラ ム	対応方法	本学の科目 の追試対象	追試受験料
◎	◎	実習を優先する	認める	免除
○	◎	実習を優先する	認める	免除
◎	○	本人の判断により選択可能	認める	免除
○	○	本人の判断により選択可能	認める	免除

◎印は、卒業要件に関する科目（教職課程科目を含む）

○印は、随意科目として扱う科目

各学部・学科・入学年度の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部	心理学部	経済学部
経営学部	法学部	政策学部
国際学部 国際文化学科 (2023年度以降入学生)	国際学部 国際文化学科 (2022年度以前入学生)	国際学部 グローバルスタディーズ学科 (2023年度以降入学生)
国際学部 グローバルスタディーズ学科 (2022年度以前入学生)	社会学部 総合社会学科 (2025年度以降入学生)	社会学部 社会学科 (2022年度以降入学生)
社会学部 コミュニティマネジメント学科 (2022年度以降入学生)	社会学部 現代福祉学科 (2022年度以降入学生)	先端理工学部 (2024年度以降入学生)
先端理工学部 (2023年度以前入学生)	理工学部 (2018年度以降入学生)	理工学部 (2017年度以前入学生)
農学部		

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1～3年次		本学の履修制限単位には含まれません。	選択専攻科目として4単位（後期の成績扱い）			

■心理学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1～3年次		履修制限単位には含まれません	選択専攻科目として4単位（後期の成績扱い）	合格または不合格にて評価（素点評価は行いません）		

■経済学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2・3年生 （4年生以上は単位認定を行いません。）	「特別講座」	履修登録制限単位数の対象外（制限単位数を超えても履修登録可）	- 学部専攻科目（選択科目）として単位認定。 1～3年次生には卒業要件単位に関する科目、4年次生には随意科目として認定。	合格または不合格にて評価（素点評価は行いません）	すべてのインターンシッププログラム（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム、RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」、RISE Programにおいて、卒業要件として認定できるのは12単位まで。 ※超過分は卒業要件単位にはならないので注意すること。	

■経営学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
2・3年次	「キャリア実習・実習指導（大学コンソーシアム京都）」	本学の履修制限単位には含まれません。ただし、登録できるコース数は1年間に1コースまでです。	【単位数】 4単位 【科目区分】 2025年度以降入学生：経営学部学科専攻科目・選択科目 2024年度以前入学生：経営学部専攻科目・選択科目（ただし、会計コース生はコース選択科目）	点数評価ではなく、「合格（G）」か「不合格（D）」で評価されます。		

■法学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
2年生以上	「特別講座」	履修制限単位数には含みません。	【単位数】 4単位 【制限】 上限8単位（超過分は随意科目として認定） 【認定】 卒業要件単位として、フリーゾーンで認定します。	合格か不合格で行います（素点評価は行いません）。	他の学内外での研修制度およびインターンシップ・プログラムと重複して参加する場合、制限（条件）があります。	

■政策学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2・3年生（4年生以上は単位認定を行いません）	「特別講座」	履修登録制限単位数に含みません。 1年度につき1プログラムを単位認定の対象とします。	【単位数】 エクスタランシップ(就業体験)コース、プロジェクト企画実践コース 1プログラム4単位 【制限】 上限8単位（超過分は随意科目として認定） 【認定】 卒業要件単位として、フリーゾーンで認定します。	合格か不合格で行います（素点評価は行いません）。	他のプログラムと重複する場合、単位認定の取り扱いについて条件があります。	

■国際学部 国際文化学科（2023年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
2年次～4年次（卒業年次生は随意科目として認定）	「グローバル時代のキャリアデザイン（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム）」	履修登録制限単位には含めない	1プログラム4単位認定。 - 各年度4単位を上限とし、出願に関しても各年度4単位を上限とする。 【卒業要件単位認定科目（認定優先順）】 「インターンシップ・実習指導」＜2023年度入学生のみ＞／「キャリア実習・実習指導」＜2024年度以降入学生＞ 「グローバル時代のキャリアデザイン」2単位 「日本の経済と社会」2単位		卒業要件単位認定上限は12単位	※1既修得の場合は認定されません。 ※2認定科目は配当年次以上でなければ認定されません。

			4. 「国際経済と日本」 2単位 5. 「グローバル社会学」 2単位 6. 「NGO/NPO論」 2単位			
--	--	--	--	--	--	--

■国際学部 国際文化学科（2022年度以前入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
2年次～4年次（卒業年次生は随意科目として認定）	「グローバル時代のキャリア設計（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム）」	履修登録制限単位には含めない	1プログラム4単位認定。 - 各年度4単位を上限とし、出願に関しても各年度4単位を上限とする。 【卒業要件単位認定科目（認定優先順）】 1. 「国際文化実践（プログラム）ⅡF」 2単位 2. 「グローバル時代のキャリア設計」 2単位 3. 「日本の経済と社会」 2単位 4. 「国際経済と日本」 2単位 5. 「日本の社会」 2単位 6. 「NGO/NPO論」 2単位 7. 「フィールド実習」 2単位		卒業要件単位認定上限は12単位	※1既修得の場合は認定されません。 ※2認定科目は配当年次以上でなければ認定されません。 ※3「国際文化実践（プログラム）ⅡF」は「国際文化実践（プログラム）Ⅰ」が先修科目のため、既修得でなければ認定されません。

■国際学部 グローバルスタディーズ学科（2023年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
------	------	--------	------	------	----------------	-----

2年次～4年次（卒業年次生は随意科目として認定）	「グローバル化とキャリア形成（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム）」	履修登録制限単位には含めない	1プログラム4単位認定。 - 各年度4単位を上限とし、出願に関しても各年度4単位を上限とする。 【卒業要件単位認定科目（認定優先順）】 1. 「インターンシップ・実習指導」＜2023年度入学生のみ＞／「キャリア実習・実習指導」＜2024年度以降入学生＞ 2. 「日本の経済と社会」2単位 3. 「NGO/NPO論」2単位 4. 「国際経済と日本」2単位		卒業要件単位認定上限は12単位	※1 既修得の場合は認定されません。 ※2 認定科目は配当年次以上でなければ認定されません。
--------------------------	---	----------------	---	--	-----------------	--

■国際学部 グローバルスタディーズ学科（2022年度以前入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
2年次～4年次（卒業年次生は随意科目として認定）	「グローバル化とキャリア形成（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム）」	履修登録制限単位には含めない	1プログラム4単位認定。 - 各年度4単位を上限とし、出願に関しても各年度4単位を上限とする。 【卒業要件単位認定科目（認定優先順）】 1. 「日本の経済と社会」2単位 2. 「NGO/NPO論」2単位 3. 「フィールド実習」2単位 4. 「国際経済と日本」2単位 5. 「日本の社会」2単位※2019年度以前入学生のみ		卒業要件単位認定上限は12単位	※1 既修得の場合は認定されません。 ※2 認定科目は配当年次以上でなければ認定されません。

■社会学部 総合社会学科（2025年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1～3年次生 （卒業年次生は卒業判定に関わるため随意科目扱い）	「特別講座 （大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム）」	履修登録制限単位数には含めません。	専攻科目の選択科目「特別講座」として4単位を認定します。			

■社会学部 社会学科（2022年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1～3年次生 （卒業年次生は卒業判定に関わるため随意科目扱い）	「特別講座」	履修登録制限単位数には含めません。	教養教育科目の選択科目「特別講座」として4単位を認定します。		以下の科目またはプログラムを受講し合格すれば単位が認定されますが、卒業要件単位として認定される単位数は、①～③を合わせて上限16単位となります。 ①大学コンソーシアム京都「単位互換制度」 ②環びわ湖大学・地域コンソーシアム ③大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」 ※1①大学コンソーシアム京都「単位互換制度」の単位認定は、社会学部が予め認定対象科目と認めた科目に限ります。 ※2たとえ卒業要件単位として認定される場合でも、単位数の上限を超えて履修した場合、随意科目となります。	

■社会学部 コミュニティマネジメント学科（2022年度以降入学生）

「コミュニティマネジメント実習Ⅰ」「同Ⅱ」「同Ⅲ」の実習先として利用することが可能です。

■社会学部 現代福祉学科（2022年度以降入学生）

単位認定されませんが、履修することは可能です。

■先端理工学部（2024年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
3年次生	専門基礎科目「先端理工キャリア実習Ⅱ」（選択科目）	履修登録制限単位数に含みません。	「その他」を参照のこと	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	3年次生以外の受講については、単位認定対象外です。 また、所属する課程によっては卒業要件上の取り扱いに注意事項がありますので、履修要項の設置科目一覧の注意事項をよく確認してください。

■先端理工学部（2023年度以前入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
3年次生	専門基礎科目「理工インターンシップ（学外実習）Ⅱ」（選択科目）	履修登録制限単位数に含みません。	「その他」を参照のこと	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	3年次生以外の受講については、単位認定対象外です。 また、所属する課程によっては卒業要件上の取り扱いに注意事項がありますので、履修要項の設置科目一覧の注意事項をよく確認してください。

■理工学部（2018年度以降入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他

3年次生	専門基礎科目「学外実習（キャリア実践実習）」 ※選択必修科目：環境ソリューション工学科 選択科目：数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科	集中講義科目のため、履修登録制限単位数に含まない。	「その他」を参照のこと	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	3年次生以外の受講については、単位認定対象外
------	---	---------------------------	-------------	----------------------	-------------	------------------------

■理工学部（2017年度以前入学生）

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
3年次生	学部内共通科目「学外実習（キャリア実践実習）」 選択必修科目：機械システム工学科、物質化学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科 選択科目：数理情報学科、電子情報学科	集中講義科目のため、履修登録制限単位数に含まない。	「その他」を参照のこと	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	3年次生以外の受講については、単位認定対象外

■農学部

対象学年	認定科目	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1年次以上	「農学部特別実習B」 「農学部特別実習C」	年間1プログラムのみを単位認定対象とし、本学の履修登録制限単位数には含みません。	内容に応じて「農学部特別実習B」および「農学部特別実習C」として認定します。 1プログラム最大3単位として認められる場合があります。	「合格」又は「不合格」で評価します（素点評価を行いません）。		※産学連携教育プログラムの履修を希望する学生は、本学の授業や定期試験等と「産学連携教育プログラム」の実施日程が重複することも考えられますので、農学部教務課窓口

【2】RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」について

本学では、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして全学共通のRYUKOKU キャリア・スタート・プログラムを展開しています。このプログラムは、建学の精神にもとづくきめ細かな実習前後の学修を展開する、本学独自の特色のある教育プログラムです。具体的な内容については、キャリアセンターが毎年度発行する「RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」」のパンフレット(i)を参照してください。

1. プログラムについて

(1) プログラム名称：RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム（ベーシック・グローバル・経済同友会）

(2) 対象者：学部1・2年次生

(3) プログラム詳細

	実習前		実習・実習前後		実習後
名称	「キャリア入門」(ii)		「キャリア実習・実習指導」		「キャリア・ディスカバリー」
認定科目名	同上		学部により異なる		同上
内容	金曜日5講時に全15回の講義を開講 働くことを考える・コミュニケーションスキル等		事前学修（6,7月土曜日開講）＋ 実習（5日間以上） ＋事後学修（9月開講）		後期火曜5講時に全15回の講義を開講
実施方法	オンライン	＋	対面・オンライン・ハイブリッド	＋	対面
単位	教養科目2単位		2単位（学部により異なる）		教養科目2単位
登録	3～4月：履修登録（抽選）		4～5月：出願（キャリアセンター）		履修登録（選抜） （2025年度以降入学生対象 経営学部生、社会学部生は2026年度以降入学生対象）
成績	素点評価		G（合格）、D（不合格）評価		素点評価

(4) 受講方法

【3～4月】「キャリア入門」を履修登録する

【4～5月】「キャリア実習・実習指導」参加のため、キャリアセンターが指定する方法で出願

※受講の際は、「キャリア入門」の出席状況または単位取得状況を確認します

【5月】実習先とのマッチング（実習先によって、書類選考・面接選考あり）

【6～7月】「キャリア実習・実習指導（事前学修）」の受講

【8～9月】「キャリア実習・実習指導（実習先での実習）」

【9月】「キャリア実習・実習指導（事後学修）」の受講

※履修制限、単位認定、成績評価等の資格要件については、各学部の詳細欄もしくは所属の学部教務課で確認してください。

※当プログラムの詳細については、以下の方法で確認してください。

1. 「RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」」パンフレット

- キャリアセンター主催の説明会（4月開催予定）
- ポータルサイトまたは龍谷キャリアナビ（龍ナビ）に掲載するキャリアセンターからのお知らせ

(5)備考

「キャリア実習・実習指導」を受講するためには、「キャリア入門」の登録・受講が必要です。

また、「キャリア入門」を1年次生に履修し、「キャリア実習・実習指導」を2年次生で履修することは可能ですが、その場合は、1年次生の段階で「キャリア入門」の単位を修得済みであることが必要です。

2. シラバス

「RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」」パンフレットで確認してください。

3. 定期試験及び追試験受験資格の認定

受入先の都合により、やむを得ず実習期間と定期試験日時が重なることがあります。当該実習と定期試験日時が重なることが判明した場合は、直ちに所属の学部教務課窓口にご相談してください。

なお、RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」の実習期間が本学定期試験と重なった場合の取扱い、次のとおりです。

本学の 授業科目	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」	対応方法	本学の科目 の追試対象	追試受験料
◎	◎	実習を優先する	認める	免除
○	◎	実習を優先する	認める	免除
◎	○	本人の判断により選択可能	認める	免除
○	○	本人の判断により選択可能	認める	免除

◎印は、卒業要件に関する科目（教職課程科目を含む）

○印は、随意科目として扱う科目

4. 注意事項

このプログラムは、実習前後の学修・実習の全てのカリキュラムを通じて、キャリア形成を支援する内容となっているため、原則欠席することはできません。また、途中で辞退することは、実習先（企業・各種団体等）に大変な迷惑をかけることになるため、特別な事情がない限り認められません。

(i) 「RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」」のパンフレットはキャリアセンターホームページから確認いただけます。冊子等の配付はありませんで、各自ダウンロードして確認してください。

(ii) 2025年度入学生から新カリキュラムが適用されるため「キャリア入門」と表記しています。「2024年度以前の入学生」および「2025年度入学生のうち経営学部、社会学部、先端理工学部」は旧カリキュラムが適用されるため「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」となります。

各学部・学科・入学年度の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部 (2022年度以降入学生)	心理学部 (2024年度以降入学生)	心理学部 (2023年度以前入学生)
経済学部 (2023年度以前入学生)	経済学部 (2024年度以降入学生)	経営学部 (2025年度以降入学生)
経営学部		政策学部

(2024年度以前入学生)	法学部	(2024年度以降入学生)
政策学部 (2022・2023年度入学生)	国際学部 (2024年度以降入学生)	国際学部 (2023年度以前入学生)
社会学部 総合社会学科 (2025年度以降入学生)	先端理工学部 全課程 (2022～2023年度入学生)	先端理工学部 全課程 (2024年度以降入学生)
農学部 (2024年度入学生)	農学部 (2025年度以降入学生)	

■文学部（2022年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生		RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」の申し込みについては、事前学修として、教養教育科目特別講義（キャリア入門）の履修が必要となります。	本学の履修制限単位には含まれません。	選択専攻科目として2単位（後期の成績扱い）までの履修を認めます。		在学中に大学コンソーシアム京都単位互換科目の修得単位数と合わせて12単位まで卒業要件単位として認めます。	

■心理学部（2024年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」（選択専攻科目）	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申込においては、事前学修として「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の履修が必要	履修制限単位には含まれません。	2単位（後期の成績扱い）	合格または不合格にて評価（素点評価は行いません）		

■心理学部（2023年度以前入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他

1・2年次生	「インターンシップ実習・実習指導」（選択専攻科目）	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申込においては、事前学修として「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の履修が必要	履修制限単位には含まれません。	2単位（後期の成績扱い）	合格または不合格にて評価（素点評価は行いません）		
--------	---------------------------	---	-----------------	--------------	--------------------------	--	--

■経済学部（2023年度以前入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「特別講座（インターンシップ実習・実習指導）」（科目区分）経済学部専攻科目・選択科目（開講期）6月～9月（実習：夏期休業期間）	第1学期（前期）開講の事前学修「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を履修登録または修得した者のみキャリア実習・実習指導を受けることができる。	実習・実習指導については対象外（制限単位数を超えても履修登録可）	2単位		すべてのインターンシッププログラム（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム、RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」、RI（Ryukoku Intercultural）Programにおいて、卒業要件として認定できるのは12単位まで。 ※ 超過分は卒業要件単位にはならないので注意すること。	～事前学修について～ 事前学修の科目名は「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」で単位数は2単位。 科目区分は教養教育科目・社会科学系科目（選択）で卒業要件単位として扱われる。

■経済学部（2024年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「特別講座（キャリア実習・実習指導）」（科目区分）経済学部専攻科目・選択科目（開講期）6月～9月（実習：夏期休業期間）	第1学期（前期）開講の事前学修「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を履修登録または修得した者のみキャリア実習・実習指導を受けることができる。	実習・実習指導については対象外（制限単位数を超えても履修登録可）	2単位		すべてのインターンシッププログラム（大学コンソーシアム京都産学連携教育プログラム、RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」、RI（Ryukoku Intercultural）Programにおいて、卒業要件として認定できるのは12単位まで。 ※ 超過分は卒業要件単位にはなら	～事前学修について～ 事前学修の科目名は「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」で単位数は2単位。 科目区分は教養教育科目・社会科学系科目（選択）で卒業要件単位として扱われる。

						ないので注意すること。	
--	--	--	--	--	--	-------------	--

■経営学部（2025年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」（科目区分）経営学部学科専攻科目・選択科目	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申し込みについては、事前学修として、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の履修が必要となります。	本学の履修制限単位には含まれません。	2単位	点数評価ではなく、「合格（G）」か「不合格（D）」で評価されます。		

■経営学部（2024年度以前入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」（科目区分）経営学部専攻科目・選択科目（ただし、会計コース生はコース選択科目）	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申し込みについては、事前学修として、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の履修が必要となります。	本学の履修制限単位には含まれません。	2単位	点数評価ではなく、「合格（G）」か「不合格（D）」で評価されます。		

■法学部

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「特別講座」	「キャリア実習・実習指導」の受講を希望する場合は、必ず「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を登録して受講するとともに、キャリアセンターからの案内に従い、別途出願手続きを行ってください。	履修制限単位数には含みません。	2単位（卒業要件単位として、フリーゾーンで認定します。）	合格か不合格で行います（素点評価は行いません）。	上限8単位（超過分は随意科目として認定）	他の学内外での研修制度およびインターンシップ・プログラムと重複して参加する場合、制限（条件）があります。

■政策学部（2024年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申し込みについては、事前学修として、教養教育科目特別講義（キャリア入門）の履修が必要となります。	履修制限単位数には含みません。	2単位	合格か不合格で行います（素点評価は行いません）。	2単位（卒業要件単位として、フリーゾーンで認定）	

■政策学部（2022・2023年度入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「国内インターンシップ」	RYUKOKU キャリア・スタート・プログラム 「キャリア実習・実習指導」申し込みについては、事前学修として、教養教育科目特別講義（キャリア入門）の履修が必要となります。	履修制限単位数には含みません。	2単位	合格か不合格で行います（素点評価は行いません）。	2単位（卒業要件単位として、フリーゾーンで認定）	

■国際学部（2024年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」	「キャリア実習・実習指導（インターンシップ・実習指導）」を受講するためには、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の登録・受講が必要です。 また、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を1年次生で履修し、「キャリア実習・実習指導（インターンシップ・実習指導）」を2年次生で履修することは可能ですが、その場合は、1年次生の段階で「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の単位を修得済みである必要があります。	履修登録制限に含めません。	2単位（卒業要件単位認定）			「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」は、教養教育科目として成績評価される科目です

■国際学部（2023年度以前入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「インターンシップ・実習指導」	「キャリア実習・実習指導（インターンシップ・実習指導）」を受講するためには、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の登録・受講が必要です。 また、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を1年次生で履修し、「キャリア実習・実習指導（インターンシップ・実習指導）」を2年次生で履修することは可能ですが、その場合は、1年次生の段階で「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の単位を修得済みである必要があります。	履修登録制限に含めない。	2単位（卒業要件単位認定）			「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」は、教養教育科目として成績評価される科目です

■社会学部 総合社会学科（2025年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習」	「教養教育科目特別講義(キャリア入門)」を履修登録済みまたは単位を修得済みであること。 ※「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を1年次生で履修し、「RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム「キャリア実習・実習指導」」を2年次生で履修することは可能ですが、その場合は、1年次生の段階で「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」の単位を修得済みである必要があります。	履修登録制限単位数には含めません。(集中講義のため) ※「教養教育特別講義(キャリア入門)」は履修登録制限内科目です。	専攻科目の選択科目「キャリア実習」として2単位を認定します。			RYUKOKUキャリア・スタート・プログラムは、以下の科目を組み合わせたプログラムです。 実習前：「教養教育特別講義(キャリア入門)」 キャリア実習・実習指導：「キャリア実習」

■先端理工学部 全課程（2022～2023年度入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「協定型インターンシップ」（専門基礎科目）	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム（キャリア実習・実習指導）を受講するためには、「教養教育科目特	履修登録制限単位数に含めません。	選択科目：数理・情報科学課程、知能情報メディア課	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	・3年次生以上は参加できません。 ・所属する課程によっては卒業要件上の取り扱いに注

		別講義（キャリア入門）」を履修登録中（または単位修得済）であることが必要です。		程、機械工学・ロボティクス課程、応用化学課程、環境生態工学課程／環境科学課程 随意科目： 電子情報通信課程		意事項があります。履修要項の設置科目一覧の注意事項をよく確認してください。
--	--	---	--	---	--	---------------------------------------

■先端理工学部 全課程（2024年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「キャリア実習・実習指導」（専門基礎科目）	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム（キャリア実習・実習指導）を受講するためには、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を履修登録中（または単位修得済）であることが必要です。	履修登録制限単位数に含みません。	選択科目： 数理・情報科学課程、知能情報メディア課程、機械工学・ロボティクス課程、応用化学課程、環境生態工学課程／環境科学課程 随意科目： 電子情報通信課程	「合格（G）」又は「不合格（D）」で評価	「その他」を参照のこと	・3年次生以上は参加できません。 ・所属する課程によっては卒業要件上の取り扱いに注意事項があります。履修要項の設置科目一覧の注意事項をよく確認してください。

■農学部（2024年度入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「農学部特別実習B」「農学部特別実習C」	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム（キャリア実習・実習指導）を受講するためには、「教養教育科目特別講義（キャリア入門）」を履修登録中（または単位修得済み）であることが必要です。	本学の履修登録制限単位数には含みません。	1プログラム最大3単位として認められる場合があります。内容に応じて「農学部特別実習B」および「農学部特別実習C」として認定します。	「合格」又は「不合格」で評価します（素点評価を行いません）		

■農学部（2025年度以降入学生）

対象学年	科目名等	先修科目等	履修登録制限	単位認定	成績評価	卒業要件単位としての認定上限	その他
1・2年次生	「農学部特別実習B」 「農学部特別実習C」	RYUKOKUキャリア・スタート・プログラム（キャリア実習・実習指導）を受講するためには、「キャリア入門」を履修登録中である必要があります。	本学の履修登録制限単位数には含みません。	1プログラム最大3単位として認められる場合があります。 内容に応じて「農学部特別実習B」および「農学部特別実習C」として認定します。	「合格」又は「不合格」で評価します（素点評価を行いません）		

諸課程

【1】教職課程

教職課程についてはこちらをご覧ください

詳しくはこちら

【2】学校図書館司書教諭課程

司書教諭とは、小学校・中学校・高等学校の図書館で専門的職務に従事する教員のことをいいます。1997年の学校図書館法の改正により、2003年度から12学級以上の規模を持つすべての小中高の図書館への司書教諭の配置が義務づけられています。

司書教諭は学校司書と同じく、学校図書館における専門的職務であり、深い人間理解に基づく、豊かな読書指導を行うことはもとより、読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を開催したり、児童・生徒の学習に対して図書館の利用に関する指導を行うこと等を職務としています。

(※文学部生は、『教職課程ガイドブック（文学部版）』にも履修内容を記載していますので、併せて確認してください。)

1. 学校図書館司書教諭の要件

司書教諭の資格を得るには、以下の2つの条件を備えていなければなりません。

- ① 教諭であること（教員免許状を有すること）
- ② 学校図書館司書教諭の講習を修了していること

本学において、これらの条件を備えるには、卒業に必要な科目の修得のほかに「教職課程」と「学校図書館司書教諭課程」の2課程を履修しなければなりません。そのため、4年間もしくはそれ以上にわたる綿密な履修計画をたてる必要があります。

2. 学校図書館司書教諭課程の開設科目

文部科学省令に定める司書教諭に関する科目と単位、および本学で該当する科目と単位は、次表のとおりです。必修科目5科目10単位、すべての修得が必要です。

	法令上の科目		本学開設科目		開講学舎	配当セメ	配当年次
	科目名	単位数	科目名	単位数			
必修科目	学校経営と学校図書館	2	(学)学校経営と学校図書館	2	深草	3	2年次以上
	学校図書館メディアの構成	2	(学)学校図書館メディアの構成	2	深草	3	2年次以上
	学習指導と学校図書館	2	(学)学習指導と学校図書館	2	深草	4	2年次以上
	読書と豊かな人間性	2	(学)読書と豊かな人間性	2	深草	4	2年次以上
	情報メディアの活用	2	(学)情報メディアの活用	2	深草	4	2年次以上

3. 学校図書館司書教諭講習「修了証書」授与申請の手続き

学校図書館司書教諭の講習を修了していることを証明するには、文部科学省に学校図書館司書教諭講習「修了証書」授与の申請手続きを行う必要があります。具体的には、文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関（以下、「講習機関」注）というを通し、手続きすることになります。

注）講習機関（文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関）近畿圏では京都教育大学、滋賀大学、大阪教育大学、奈良教育大学、和歌山大学などがあります。（過年度実績）

ただし、以下の要件を充足することを条件に、所定の手続きをすれば、本学が代理で申請手続きをします。

2016年度より、手続きを変更し、在学時にも申請が可能となりました。特に、近年「教員採用試験」等で「学校図書館司書教諭」の資格を有していることにより、自治体等によっては、加点措置など優遇される場合があります。できるだけ、2年次までに科目を修得し、3年次の時点で申請することを薦めます。

（1）在学時手続きの場合【3年次以上】

- ① 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得していること。
- ② 1.までの期間に、司書教諭に関する科目の単位をすべて修得していること。

手続きなどの詳細については、4月～5月頃にポータルサイト等でお知らせします。なお、この場合「修了証書」は、申請した**翌年の3月**以降にお渡しする予定です。

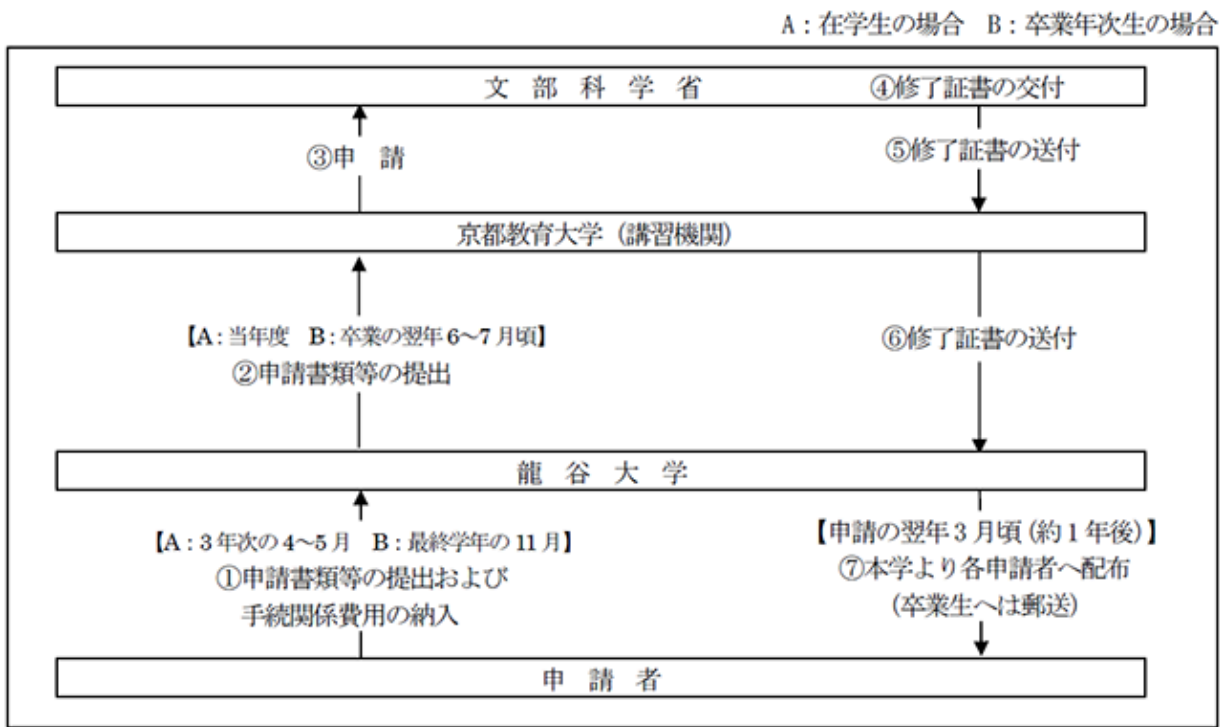
（2）卒業時点で申請する場合【卒業年次生対象】

- ① 【学部生の場合】 翌年3月に卒業すること。
- ② 翌年3月までに教員免許状を取得していること。
※学部生が翌3月（卒業式）までに教員免許状を取得するためには、当年度の10～11月頃に「一括申請」の申込手続きをしなければなりません。「一括申請」とは、大学が申請者に代わって一括で免許状を申請することです。この手続きをしなかった場合には、卒業後に個人で申請することになります。
- ③ 翌年3月までに、学校図書館司書教諭に関する科目の単位をすべて修得していること。

手続きなどの詳細については、11～12月頃に卒業（大学院修了）予定者に対しポータルサイト等でお知らせします。

なお、この場合「修了証書」は、本学が講習機関に申請した**翌年の3月（卒業年次生の場合、卒業から1年後）**以降に本学より各申請者に郵送する予定です。

【参考】「修了証書」授与までの手続きの流れ（予定）



特に卒業年次生で申請する場合には、卒業後に申請内容に変更（改氏名、本籍地変更、住所変更など）があれば、直ちに本学担当者に連絡しなければなりません。これを怠ると、正しく「修了証書」が発行されず、場合によっては授与が認められませんのでご注意ください。

ださい。

対象： 文学部 経済学部 経営学部（経営学科）

【3】 図書館司書課程

図書館司書とは、図書館等で資料の選択、収集、整理（分類、目録）、情報サービスなどを行う専門的職員です。公共図書館、大学図書館、専門図書館、学校図書館などで働いています。

生涯学習社会といわれる現代において図書館司書が果たす役割は大きく、利用者に対して質の高いサービスを提供でき、多様なニーズに対応できる人材が求められています。また図書資料だけにとどまらず国際化・情報化の時代にふさわしく情報メディアの収集・管理、情報検索などについての自在な活用能力も求められています。

1. 図書館司書資格の取得

本学において、図書館司書の資格を取得するには、以下の2つの条件を備えなければなりません。

- ① 大学を卒業していること
- ② 図書館に関する所定の科目を修得していること
（「図書館法」第5条第1第1号）

2. 履修上の注意

「図書館法」および「図書館法施行規則」で定める図書館司書に関する科目と単位、および本学でのそれに該当する科目と単位は、3)「図書館司書に関する科目」カリキュラム表のとおりです。図書館法の改正に伴い、2012（平成24）年度から図書館司書課程のカリキュラムが変わりました。

2012年度以降入学生（2012・2013年4月入学の編転入学生を含む）と2011年度以前入学の学部在学生在で修得すべき科目および単位数が異なりますので注意してください。

3. 「図書館司書に関する科目」カリキュラム表

【2012年度以降入学生（2012・2013年4月入学の編転入学生を含む）】

【科目等履修生（大学院生の学部科目等履修も含む）】

必修科目22単位および選択必修科目から2科目3単位以上、計25単位以上の修得が必要です。

	法令上の科目		本学開設科目		開講学舎	配当セメ	配当年次	備考
	科目名	単位数	科目名	単位数				
甲群（必修科目）	生涯学習概論	2	(司)生涯学習概論	2	深草	1	1年次以上	注1
	図書館概論	2	(司)図書館情報学概論	2	深草	1	1年次以上	
	図書館情報技術論	2	(司)図書館情報技術論	2	深草	3	2年次以上	
	図書館制度・経営論	2	(司)図書館制度・経営論	2	深草	4	2年次以上	
	図書館サービス概論	2	(司)図書館サービス概論	2	深草	2	1年次以上	

	情報サービス論	2	(司)情報サービス論	2	深草	3	2年次以上	
	児童サービス論	2	(司)児童サービス論	2	深草	3	2年次以上	
	情報サービス演習	2	(司)情報サービス実習A	1	深草	3	2年次以上	※
			(司)情報サービス実習B	1	深草	4	2年次以上	注2※
	図書館情報資源概論	2	(司)図書館情報資源概論	2	深草	2	1年次以上	
	情報資源組織論	2	(司)情報資源組織論	2	深草	3	2年次以上	
	情報資源組織演習	2	(司)情報資源組織実習A	1	深草	4	2年次以上	注2※
			(司)情報資源組織実習B	1	深草	4	2年次以上	注2※
乙群（選択必修科目）	図書・図書館史	1	(司)図書・図書館史	2	深草	2	1年次以上	
	図書館情報資源特論	1	(司)図書館情報資源特論	2	深草	3	2年次以上	
	図書館実習	1	(司)図書館実習	1	深草	5	3年次以上	注3※
	図書館基礎特論	1	(司)図書館基礎特論	2	深草	2	1年次以上	
	図書館サービス特論	1	(司)図書館サービス特論	2	深草	3	2年次以上	
	図書館施設論	1	(司)図書館施設論	2	深草	3	2年次以上	
	図書館総合演習	1	(司)図書館総合演習	2	深草	5	3年次以上	注3※

※…「選抜登録科目」（旧事前登録科目）について

※の科目は「選抜登録科目」（旧事前登録科目）です。履修登録方法の詳細は事前にポータルサイト「お知らせ」で確認してください。

「(司)図書館実習」「(司)図書館総合演習」は事前選考を行います。履修登録に加えポータルサイトアンケートでの申込が必要です。申込方法・期限等について、必ず事前にポータルサイト「お知らせ」で確認してください。

注1…文学部専攻科目として開講されている「生涯学習概論」（4単位）を取得しても司書課程の「(司)生涯学習概論」の単位には認定されません。「生涯学習概論」（4単位）を既に修得（または修得予定）している場合でも、司書課程の資格取得を希望する者は、「(司)生涯学習概論」（2単位）を必ず履修してください。

注2…先修制について

以下の科目には、先修科目が設定されていますので注意してください。

授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数
(司)情報サービス実習B	(司)情報サービス論（2単位）

(司)情報資源組織実習A	(司)情報資源組織論 (2単位)
(司)情報資源組織実習B	(司)情報資源組織論 (2単位)

注3…「(司)図書館実習」の履修について

この科目の履修については、別途4.の項目を参照してください。

★配当セメスターは変更になる場合があります。

★年度により、開講しない科目があります。

★各年度の開講科目はシラバスで確認してください

4. 「(司)図書館実習」の履修について

(「(司)図書館総合演習」の履修については、「(司)図書館実習」に準じます。)

(ア) 履修登録資格

- ① 前年次までに前項3) の甲群(必修科目)をすべて修得済みの者。
- ② 履修登録に際しての選考に合格した者 (科目の性格上、多人数の受講が不可能であるため事前選抜を行います)。

(イ) 実習内容

実際に図書館の現場で業務の実習をすることで、業務の実際についての理解を深めます。準備段階では、図書館を実際に訪問してパブリックサービスを利用者として網羅的に理解し、スムーズに実習できるようにします。また、その過程で利用者として図書館に関わることと、スタッフとして図書館に関わることの違いを認識します。

実習後には、詳細な報告書を作成し、図書館業務の理解を深めます。

(ウ) 実習費等

実習受け入れ先によっては、実習費や保険加入費が必要な場合があります。

対象： **文学部** **経済学部** **経営学部（経営学科）**

【4】 本願寺派教師資格課程

2021年度から、浄土真宗本願寺派における教師資格制度の変更があり、2021年度以降入学生と2020年度以前入学生で、取り扱いが異なりますので、資格取得に際しては十分注意してください。

2021年度以降入学生対象

本願寺派教師資格課程は、浄土真宗本願寺派における寺院の住職や布教使になるためには必要となる資格課程です。浄土真宗本願寺派の定める規定により、教師の授与を希望される場合は、教師教修出願資格試験講習会の受講、教師教修出願資格試験の受験を経て、「教師教修」を修了しなければなりません。

本学は教師養成施設認定校として認定されているため、「教師教修出願資格試験講習会」と同等の科目を1回生から履修することが可能です (受講する場合は、各学部の科目一覧を確認のうえ、履修登録をしてください)。

大学を卒業した日から5年間、本願寺派教師資格課程8科目すべてを修得した証明書（本願寺派教師資格科目履修証明書）をもって、教師教修出願資格試験の受験を願出することができます。すべての科目を修得できなかった場合は、浄土真宗本願寺派で行われる講習会を受講しなければなりません。

例年3月に実施される大学・仏教学院の卒業期対象の教師教修を受ける場合は、それまでに本山教師科目8科目の修得、教師教修出願資格試験の受験・合格が必要となるため、計画的に本願寺派教師資格課程科目を履修するようにしてください。

本件にかかる資格制度の詳細について、不明な点等がありましたら、浄土真宗本願寺派伝道部にお尋ねください。

※浄土真宗本願寺派から教師教修出願資格試験願い出について、以下のとおり通知（2026年8月31日付）がありましたのでお知らせします。

■2021(令和3)年4月1日以降に、宗達で指定された教師養成施設（本学）に入学した者(新規：教師教修出願資格試験講習会免除者)

(1) 対 象：教師教修出願資格試験講習会

(2) 変更内容：教師教修出願資格試験講習会と同等の科目については、在学中に8科目全てを履修していなくても、貴教育機関が発行する履修科目の証明書（有効期限5年）をもって、未履修の科目を教師教修出願資格試験講習会において受講し、同試験を願い出ることができる。

■2021(令和3)年3月31日時点において、教師養成施設（本学）に在学していた者(旧規程：教師教修出願資格試験免除者)

※2021(令和3)年3月31日時点において、旧規程による教師養成施設を既に卒業した者の有効については、2025(令和7)年3月31日が期限でありますこと申し添えます。

(1) 対 象：教師教修出願資格試験

(2) 変更内容：教師教修出願資格試験と同等の科目については、在学中に8科目全てを履修していなくても、貴教育機関が発行する履修科目の証明書（有効期限4年）をもって、未履修の科目を教師教修出願資格試験講習会において受講し、同試験を願い出ることができる。

各学部の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部

心理、経済、経営、法、政策、国際、社会学部

先端理工、理工、農学部

■文学部

2021年度以降入学生

本山教師科目	授業科目名	履修要件
真宗教義	(1) 真宗学概論A1及びA2 (2) 真宗学概論B1及びB2	左記 (1) (2) のうちいずれか4単位
仏教教義	(1) 仏教学概論A1及びA2 (2) 仏教学概論B1及びB2	左記 (1) (2) のうちいずれか4単位
真宗史	(1) 真宗教団史 (2) 真宗史A及びB	左記 (1) (2) のうちいずれか4単位
仏教史	(本山教師) 仏教史	1単位
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1単位
勤式作法実演	勤式	4単位
宗門法規	宗門法規	2単位
法話実演	教化法	4単位

■経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部・心理学部・社会学部

2026年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	集中講義（大宮学舎での開講） 集中講義（大宮学舎での開講）
仏教教義	仏教学概論	2	4	
真宗史	真宗教団史	2	4	
仏教史	（本山教師）仏教史	1	1	
宗教概説	（本山教師）宗教概説	1	1	
勤式作法実演	勤式	1	4	
宗門法規	宗門法規	1	2	
法話実演	教化法	1	4	

■経済学部・法学部・政策学部・国際学部・心理学部

2025年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	集中講義（大宮学舎での開講） 集中講義（大宮学舎での開講）
仏教教義	仏教学概論	2	4	
真宗史	真宗教団史	2	4	
仏教史	（本山教師）仏教史	1	1	
宗教概説	（本山教師）宗教概説	1	1	
勤式作法実演	勤式	1	4	
宗門法規	宗門法規	1	2	
法話実演	教化法	1	4	

■経営学部・社会学部

2025年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	集中講義（大宮学舎での開講） 集中講義（大宮学舎での開講）
仏教教義	仏教学概論	2	4	
真宗史	真宗教団史	1	4	
仏教史	（本山教師）仏教史	1	1	
宗教概説	（本山教師）宗教概説	1	1	
勤式作法実演	勤式	1	4	
宗門法規	宗門法規	1	2	
法話実演	教化法	1	4	

■経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部・心理学部

2021～2024年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	集中講義（大宮学舎での開講） 集中講義（大宮学舎での開講）
仏教教義	仏教学概論	2	4	
真宗史	真宗教団史	1	4	
仏教史	（本山教師）仏教史	1	1	
宗教概説	（本山教師）宗教概説	1	1	
勤式作法実演	勤式	1	4	
宗門法規	宗門法規	1	2	
法話実演	教化法	1	4	

■社会学部※2025年度以降は京都学舎にて以下の科目を開講します。

2021～2024年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史	真宗史	1	4	通年
仏教史	(本山教師) 仏教史	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
勤式作法実演	勤式	1	4	通年
宗門法規	宗門法規	1	2	集中講義
法話実演	教化法	1	4	通年

■経済学部・経営学部・法学部・政策学部・国際学部

2015～2020年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	1 年次配当の教養教育科目 1 年次配当の教養教育科目
仏教教義	仏教学概論	2	4	
真宗史	真宗教団史	1	4	
仏教史	仏教の思想A・B	1	4	
宗教概説	宗教学入門	1	4	
勤式作法	勤式	1	4	
宗門法規	宗門法規	1	2	
布教法	教化法	1	4	

■社会学部

2015～2020年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史	真宗教団史	1	4	通年
仏教史	日本仏教史	1	4	通年
宗教概説	宗教学概論	1	4	通年
勤式作法	勤式	1	4	通年
宗門法規	宗門法規	1	2	集中講義
布教法	教化法	1	4	通年

■先端理工学部・農学部

2026年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史※	(1) 真宗史	1	4	通年
	(2) 真宗教団史	2	4	通年 (深草学舎での開講)
仏教史	(本山教師) 仏教史	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
勤式作法実演	勤式	1	4	※通年
宗門法規	宗門法規	1	2	◎集中講義
法話実演	教化法	1	4	※通年

※ (1) (2) のうちいずれか4単位

◎奇数年度開講

＊偶数年度開講

■先端理工学部

2025年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史	真宗史	1	4	通年
仏教史	(本山教師) 仏教史	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
勤式作法実演	勤式	1	4	＊通年
宗門法規	宗門法規	1	2	◎集中講義
法話実演	教化法	1	4	＊通年

◎奇数年度開講

＊偶数年度開講

■農学部

2025年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史※	(1) 真宗史	1	4	通年
	(2) 真宗教団史	2	4	通年 (深草学舎での開講)
仏教史	(本山教師) 仏教史	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
勤式作法実演	勤式	1	4	＊通年
宗門法規	宗門法規	1	2	◎集中講義
法話実演	教化法	1	4	＊通年

※ (1) (2) のうちいずれか4単位

◎奇数年度開講

＊偶数年度開講

■先端理工学部・農学部

2021～2024年度入学生

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史	真宗史	1	4	通年
仏教史	(本山教師) 仏教史	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
宗教概説	(本山教師) 宗教概説	1	1	集中講義 (大宮学舎での開講)
勤式作法実演	勤式	1	4	＊通年
宗門法規	宗門法規	1	2	◎集中講義
法話実演	教化法	1	4	＊通年

◎奇数年度開講

＊偶数年度開講

■先端理工学部・理工学部・農学部

本山教師科目	本学開講の関連科目	年次	単位	備考
真宗教義	真宗学概論	2	4	通年
仏教教義	仏教学概論	2	4	通年
真宗史	真宗史	1	4	通年
仏教史	日本仏教史	1	4	通年
宗教概説	宗教学概論	1	4	通年
勤式作法	勤式	1	4	＊通年
宗門法規	宗門法規	1	2	◎集中講義
布教法	教化法	1	4	＊通年

◎奇数年度開講

＊偶数年度開講

【5】博物館学芸員課程

- 博物館といわれるのは、博物館・美術館・資料館・郷土館・宝物館・民族館・記念館などのほか、天文館・電気館・科学館・水族館・動物園・植物園などを含むもので、これらは学校教育に対する社会教育施設として、図書館や公民館とともに重要な教育施設です。
- 昭和26年12月に制定された「博物館法」によって、これらの博物館は、その目的を達成するために、「学芸員」やその他の職員を置くことが定められました。
- 学芸員は、博物館資料の収集・保管・展示および調査研究、その他これと関連する事業についての専門的事項を司る者で、博物館が社会教育施設として有効な活動ができるかどうかは、まったく学芸員の能力と手腕にかかっています。
- 本学においても、博物館学芸員課程を設置し、人文・自然科学系（歴史学・民族（俗）学・美術史学・考古学・環境学・動植物学等）博物館の学芸員を養成し、別表の科目を履修することによって、有能な学芸員を社会に送りだすことを目指しています。
- 在学中に本課程を完修できなかった場合、卒業後に本学部での科目等履修生となり、未修得の科目を履修することも可能ですが、「博物館実習」の履修登録が認められないことがあるため、できるだけ在学中に完修することが望まれます。
- 「博物館実習」は年間に5日～20日程度学外実習があり、また宿泊を伴う地方への巡検がありますので、職業や家庭の事情等で学外実習や地方への巡検ができないと判断される場合は、履修登録が認められません。

各学部の詳細につきましては、下記をご確認ください。

文学部

国際学部

先端理工学部

理工学部

農学部

文学部

1. 「博物館実習」の履修について

（ア）履修登録資格

- 前年度までに下記の科目の単位を修得した者。
「(博)生涯学習概論」「博物館概論」「博物館展示論」「博物館教育論」の4科目8単位。
- 履修登録に際しての選考に合格した者（科目の性格上、多人数の受講が不可能であるため選考します。）
※選考は、履修希望に関する書類・成績（博物館学芸員課程関連科目既修得成績および卒業要件科目既修得成績）および博物館学に関する筆記試験や面接によって行います。
※「博物館実習」の履修登録希望者は、前年度の10月下旬から11月上旬に説明会を実施し、選考概要を発表しますので、必ず説明会に参加してください。
- 科目の性格上、出席を重視するので必ず出席できる者。

（イ）実習内容

- ① 見学実習を中心に、講義実習および実技を年間を通して行います。
※通常は、土曜日の3、4講時に行いますが、実習先の都合によっては、他の曜講時に行うことがあります。
- ② 館園実習を龍谷ミュージアムまたは学外の博物館等の施設にて夏期に1週間程度行います。
- ③ 夏期休暇等を利用して宿泊実習を行います（予定）※夏期休暇中に関西圏以外（2泊3日）
- ④ 12月上旬に実習の総まとめとしての展示会「十二月展」を行います。

（ウ）実習費

- ① 履修登録を許可された者は、実習費として10,000円を納入しなければなりません。
- ② 見学実習等に必要な交通費・宿泊費等の実費（約10万円）を自己負担しなければなりません。

（エ）履修登録

「博物館実習」の履修登録希望者は、前年度の10月下旬から11月上旬に説明会を実施し、その際選考概要を発表しますので、説明会に必ず参加してください。

選考については、1月上旬までに申請書類を提出し、ア②記載の方法で、1月下旬に選考を実施します。

選考において受講を許可された者のみ、履修する年度の前期履修登録期間にweb登録を行ってください。

2. 「博物館に関する科目」カリキュラム表

	法定上の科目	文学部開講の科目	単位数	配当年次	開講学舎	備考
必修科目	生涯学習概論	（博）生涯学習概論	2	1年次以上	深草	博物館実習先修科目
	博物館概論	博物館概論	2	1年次以上	深草	博物館実習先修科目
	博物館経営論	博物館経営論	2	2年次以上	大宮	
	博物館資料論	博物館資料論	2	1年次以上	深草	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2年次以上	深草／瀬田	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2年次以上	深草	
	博物館展示論	博物館展示論	2	2年次以上	大宮	博物館実習先修科目
	博物館教育論	博物館教育論	2	1年次以上	深草	博物館実習先修科目
	博物館実習	博物館実習	3	4年次	大宮	履修登録に際して選考が行われます。

★下記科目の単位修得は資格取得要件ではないが、履修することが望ましい。

<2018年度以降入学生>

授業科目名	単位数	配当年次	開講学舎
日本文化史Ⅰ/Ⅱ	各2	2年次以上	深草
中国文化史Ⅰ/Ⅱ	各2	2年次以上	深草
美術史（日本）A/B	各2	2年次以上	大宮
美術史（アジア）A/B	各2	2年次以上	大宮
仏教美術史A/B	各2	2年次以上	大宮
考古学（日本）A/B	各2	1年次以上	深草
考古学（アジア）A/B	各2	1年次以上	深草

民俗学（日本）A/B 民俗学（アジア）A/B	各2 各2	3年次以上 3年次以上	大宮 大宮
---------------------------	----------	----------------	----------

国際学部

1. 博物館学芸員課程の履修について

博物館法施行規則に定められている科目と単位数は、本学部ではそれに応じて、別表のとりの科目と単位数にしています。

本学部において「博物館実習」を除く、博物館学芸員課程必修科目の履修登録ができる人数は、各科目とも60名までとしますので、予備(事前)登録を実施します。

■終了要件

卒業までに、必修9科目（19単位）の修得が必要です。また、履修推奨科目の中から2科目4単位以上の修得が強く望まれます。

2. 「博物館実習」の履修について

(1) 資格登録資格

次の項目をすべて満たしていること。

- ① 「博物館実習」を履修するまでに「生涯学習概論」「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館教育論」「博物館情報・メディア論」を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得している者（「博物館実習内規」を参照）。
- ② 受講申込を行い、選考（小論文・面接など）に合格した者（科目の性格上、多人数の受講が不可能です）。
※選考は、受講希望に関する書類・成績（博物館学芸員課程関連既修得科目の成績および卒業要件既修得科目の成績）及び博物館学に関する面接試験などによって行う。
- ③ 科目の特性上、実習先へ所定の期間、出勤可能な者。
- ④ 実習費（「博物館実習費」・「館園実習費」）を期日までに納入した者。

(2) 対象年次

3年次以上

(3) 実習定員

定員は原則として、30名以内です。

(4) 実施方法

- ① 実地研修を中心に「博物館実習」の事前・事後の指導講義も行います。
- ② 学外の博物館などの学外実習先にて指導を受けます（夏期休暇中など）。
- ③ 通年開講科目です（留学する者は受講できません）。
- ④ 実習の特性上、学外実習を行うことがあるので、開講曜講時前後の時間帯におよんで実習講義を行うことがあります。

(5) 実習費

履修登録を許可された者は、博物館実習費として10,000円、館園実習費として実費費用を、各所定の日までに納入しなければなりません。これらの手続きを完了することによって、「博物館実習」科目を履修登録することができます。ただし、受講登録後の自己都合による受講取消の場合は、一切返金しません。

(6) 実習申込時期

履修登録希望者は、博物館実習履修の前年度3月下旬の学業成績公開後、所定の期間に申込手続きを行ってください。

(7) 実地研修『博物館実習』（博物館等での学外実習）の心構え

- ① 学生の意識で実習を行うのではなく、一社会人としての行動をとること。
- ② 受入機関は勿論、入館者の方にも失礼のないように注意すること。
- ③ 時間厳守のこと。
- ④ 実習期間の服装は、入館者と直接接するるので、受入機関の指示に従うこと。
- ⑤ 各自、薄手の手袋を持参の方が望ましい。
- ⑥ その他、受入機関の指示に従うこと。

(8) その他

「博物館実習」の一端として宿泊を伴う博物館の見学などを行います。博物館の見学などに必要な交通費・宿泊費・食事代等の実費（5万～10万円）は、自己負担しなければなりません。

3. 本学部における博物館学芸員課程に関する科目

■必修科目（両学科共通）

省令科目	単位数	国際学部開講科目	単位数	配当年次
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	1
博物館概論	2	博物館概論	2	1
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2	1
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2	1
博物館実習	3	博物館実習	3	3
計（9科目）	19	計（9科目）	19	

先端理工学部（2020年度以降入学者）

1. 博物館学芸員課程の履修について

博物館法施行規則に定められている科目と単位数に応じて、本学部では別表のとりの科目と単位数にしています。

本学部において、「博物館実習」を除く博物館学芸員課程必修科目の履修登録ができる人数は、各科目とも20名までとしますので、選抜登録を実施します。

必修9科目19単位を履修しなければなりません。選択科目群から2科目4単位以上の履修を推奨します。

2. 「博物館実習」の履修

(1) 履修登録資格

次の項目を全て満たしていること

- ① 「博物館実習」を履修するまでに下記の科目の単位を修得した者。
「博物館実習」以外の必修科目を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得していること。
- ② 受講申込を行い、選考（小論文・面接など）に合格した者（科目の性格上、多人数の受講が不可能です）。
※選考は、受講希望に関する書類・成績（博物館学芸員課程関連既修得科目の成績および卒業要件既修得科目の成績）及び博物館学に関する面接試験などによって行う。
- ③ 科目の性格上、実習先へ所定の期間は、出勤可能な者。
- ④ 年度始めに実習費を納入すること。

(2) 対象年次

3年次以上

(3) 実習定員

本学部での定員は原則として、10名以内です。

(4) 実施方法

- ① 実地研修を中心に「博物館実習」の事前・事後の指導講義も行います（学内実習）。
- ② 学外の博物館などの学外実習先にて指導を受けます（館園実習）。

- ③ 通年開講科目です（当該年度に長期留学する者は受講できません）。
- ④ 実習の性格上、学外において実習を行うことがあるので、開講曜講時前後の時間帯におよんで実習講義を行うことがあります。

(5) 実習費

「博物館実習」履修の本登録を許可された者（ポータルサイト等にて確認）は、必ず所定の期間（4月上旬）に実習費として10,000円を納入してください。

これらの手続きを終了することによって、「博物館実習」科目を履修登録することができます。

ただし、受講登録後の自己都合による受講取消の場合は、実習費を一切返金しません。

(6) 実習申込時期

履修登録希望者は、博物館実習履修の前年度3月下旬に所定の手続き（選抜登録等）を行うこと。

(7) 実地研修『博物館実習』（博物館等での学外実習）の心構え

- ① 学生の意識で実習を行うのではなく、一般社会人としての行動をとること。
- ② 受入機関は勿論、入館者の方にも失礼のないように注意すること。
- ③ 時間厳守のこと。
- ④ 実習期間の服装は、入館者と直接接触するので、受入機関の指示に従うこと。
- ⑤ 各自、薄手の手袋を持参する方が望ましい。
- ⑥ その他受入機関の指示に従うこと。

(8) その他

「博物館実習」の一端として宿泊を伴う博物館の見学などを行う場合もあります。博物館の見学などに必要な交通費・宿泊費・食事代等の実費（5万～10万円）は、自己負担しなければなりません。

3. 本学部における博物館学芸員課程に関する科目

(1) 必修科目

	省令科目	先端理工学部開講科目	単位数	配当年次	開講学舎	開講曜講時
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1	開講学舎、開講曜講時は時間割を確認すること	
	博物館概論	博物館概論	2	1		
	博物館経営論	博物館経営論	2	2		
	博物館資料論	博物館資料論	2	1		
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2		
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2		
	博物館展示論	博物館展示論	2	2		
	博物館教育論	博物館教育論	2	1		
	博物館実習	博物館実習	3	3		

(2) 選択科目

		科目名	単位数	配当年次	履修可能課程	
					知能情報メディア	環境生態工学課程／環境科学課程
選択科目	自然科学史	環境としての情報技術	2	3	○	○
		情報学概論	2	2	○	

		地球環境概論A	1	1	○	○
		地球環境概論B	1	1	○	○
		地域環境概論A	1	1	○	○
		地域環境概論B	1	1	○	○
	化学	化学概論	2	1		○
	生物学	生物学概論	2	1	○	○
		生物学概論Ⅰ	1	1	○	○
		生物学概論Ⅱ	1	1	○	○
		進化学	1	1	○	○
	地学	地学概論	2	1		○

理工学部

1. 博物館学芸員課程の履修

博物館法施行規則に定められている科目と単位数は、本学部ではそれに応じて、別表のとりの科目と単位数にしています。2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）と2007年度～2011年度入学の学部在学学生では、修得すべき単位数が異なります。

本学部において、「博物館実習」を除く博物館学芸員課程必修科目の履修登録ができる人数は、各科目とも20名までとしますので、選抜登録を実施します。

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

必修9科目19単位を履修しなければなりません。選択科目群から2科目4単位以上の履修を推奨します。

【2007年度～2011年度入学の学部在学学生（情報メディア学科は2011年度入学生）】

必修8科目12単位および選択科目群から2科目4単位以上を履修しなければなりません。

※博物館学芸員資格を取得希望で単位を一部未修得で卒業した場合、科目等履修生として履修を続けることが可能ですが、その場合、2012年度以降の入学生のカリキュラムが適用されます。在学中に修得した単位のうち、2012年度以降入学生のカリキュラムへの読み替えが可能なものの以外に、追加で修得する単位が必ず発生します。そのためできるだけ在学中に完修することが望ましいです。詳細は後に掲載している読み替え表を参照してください。

2. 「博物館実習」の履修

(1) 履修登録資格

次の項目を全て満たしていること

① 「博物館実習」を履修するまでに下記の科目の単位を修得した者。

【2007年度～2011年度入学の学部在学学生（情報メディア学科は2011年度入学生）】

「博物館実習」以外の必修科目を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得していること（「博物館実習内規」を参照）。

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

「博物館実習」以外の必修科目を完修していることが望ましいが、最低5科目以上の単位を修得していること。

② 受講申込を行い、選考（小論文・面接など）に合格した者（科目の性格上、多人数の受講が不可能です）。

※選考は、受講希望に関する書類・成績（博物館学芸員課程関連既修得科目の成績および卒業要件既修得科目の成績）及び博物館学に関する面接試験などによって行う。

③ 科目の性格上、実習先へ所定の期間は、出勤可能な者。

④ 年度始めに実習費を納入すること。

(2) 対象年次

3 年次以上

(3) 実習定員

本学部での定員は原則として、10名以内です。

(4) 実施方法

- ① 実地研修を中心に「博物館実習」の事前・事後の指導講義も行います（学内実習）。
- ② 学外の博物館などの学外実習先にて指導を受けます（館園実習）。
- ③ 通年開講科目です（当該年度に長期留学する者は受講できません）。
- ④ 実習の性格上、学外において実習を行うことがあるので、開講曜講時前後の時間帯におよんで実習講義を行うことがあります。

(5) 実習費

「博物館実習」履修の本登録を許可された者（ポータルサイト等にて確認）は、必ず所定の期間（4月上旬）に実習費として10,000円を納入してください。

これらの手続きを終了することによって、「博物館実習」科目を履修登録することができます。

ただし、受講登録後の自己都合による受講取消の場合は、実習費を一切返金しません。

(6) 実習申込時期

履修登録希望者は、博物館実習履修の前年度3月下旬に所定の手続き（選抜登録等）を行うこと。

(7) 実地研修『博物館実習』（博物館等での学外実習）の心構え

- ① 学生の意識で実習を行うのではなく、一般社会人としての行動をとること。
- ② 受入機関は勿論、入館者の方にも失礼のないように注意すること。
- ③ 時間厳守のこと。
- ④ 実習期間の服装は、入館者と直接接するるので、受入機関の指示に従うこと。
- ⑤ 各自、薄手の手袋を持参の方が望ましい。
- ⑥ その他受入機関の指示に従うこと。

(8) その他

「博物館実習」の一端として宿泊を伴う博物館の見学などを行う場合もあります。博物館の見学などに必要な交通費・宿泊費・食事代等の実費（5万～10万円）は、自己負担しなければなりません。

3. 本学部における博物館学芸員課程に関する科目

(1) 必修科目

【2012年度以降入学生（2012年度以降入学の編転入学生を含む）】

	省令科目	理工学部開講科目	単位数	配当年次	開講学舎	開講曜講時
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	1	開講学舎、開講曜講時は時間割を確認すること	
	博物館概論	博物館概論	2	1		
	博物館経営論	博物館経営論	2	2		
	博物館資料論	博物館資料論	2	1		
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2		
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2		
	博物館展示論	博物館展示論	2	2		
	博物館教育論	博物館教育論	2	1		
	博物館実習	博物館実習	3	3		

※2011年度以前入学生が博物館学芸員課程の必修科目を履修する場合は、先端理工学部教務課に相談すること。

【参考】旧カリキュラムで修得した単位の2012年度以降入学生用科目への読み替え表

旧カリキュラム（2011年度以前入学生対象）					新カリキュラム（2012年度以降入学生対象）			
	省令科目	理工学部開講科目	単位数	読み替え		省令科目	理工学部開講科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	1	→	必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2
	博物館概	博物館概	2	→		博物館概	博物館概	2
	博物館経営論	博物館経営	1	→		博物館経営	博物館経営	2
	博物館資料論	博物館資料論	2	→		博物館資料論	博物館資料論	2
	博物館情報	博物館情報	1	→		博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2
	視聴覚教育メディア論	視聴覚教育メディア論	1	※1				
						博物館資料保存論	博物館資料保存論	2
						博物館展示論	博物館展示論	2
	教育学概論	教育学概論	1	不可		博物館教育論	博物館教育論	2
	博物館実習	博物館実習	3	→		博物館実習	博物館実習	3

※1「博物館情報論」と「視聴覚教育メディア論」の両方を修得した場合のみ「博物館情報・メディア論」に読み替え可能。

★2012年度以降に旧カリキュラム（2011年度以前入学生対象）から新カリキュラム（2012年度以降入学生対象）への読み替えが必要なもの

- 本学において旧カリキュラムで一部履修している科目等履修生
- 再入学者
- 3年次編転入者（本学出身者に限る）
- 大学院進学者（本学出身者に限る）

読み替え対象となるのは2011年度末までに修得した単位に限ります。

(2) 選択科目

		科目名	単位数	配当年次
選択科目	自然科学史	情報環境論	2	2
		情報学概論	2	2
		科学思想史	2	2
		地球環境概論	2	1
		地域環境概論	2	1
	化学	化学概論Ⅰ	2	1
		化学概論Ⅱ	2	1

	生物学	生物学概論Ⅰ	2	1
		生物学概論Ⅱ	2	1
		生態学概論	2	1
		進化学	2	1
	地学	地学概論Ⅰ	2	1
		地学概論Ⅱ	2	1

農学部

1. 博物館学芸員課程の履修

博物館法施行規則に定められている科目と単位数に応じて、農学部では「(3) 農学部における博物館学芸員課程に関する科目」のとおりに、必修科目は9科目19単位を履修しなければなりません。また、選択科目は11科目22単位の中から2科目4単位以上の履修を推奨しています。

2. 「博物館実習」の履修

(1) 履修資格：

次の項目をすべて満たしていること。

- ① 「博物館実習」を履修するまでに必修科目(5科目以上)の単位を修得した者
- ② 所定の期間に事前登録を行い、選考に合格した者
- ③ 所定の期間に博物館実習費を納入した者

(2) 対象年次：3年次以上

(3) 受講店員：原則、10名以内

(4) 実施方法

- ① 実地研修を中心に「博物館実習」の事前・事後の指導講義も行います（学内実習）。
- ② 学外の博物館などの学外実習先にて指導を受けます（館園実習）。
- ③ 通年開講科目です（当該年度に長期留学する者は受講できません）。

(5) 博物館実習費の納入

「博物館実習」の本登録を許可された者は、必ず所定の期間(4月上旬)に証明書自動発行機にて博物館実習費10,000円を納入の上、証明書自動発行機から出力される各種申込書「博物館実習費（農学部）」を速やかに農学部教務課に提出してください。なお、受講登録後の自己都合による受講取消の場合は、博物館実習費を一切返金しません。

(6) 実習申込時期

履修登録希望者は、博物館実習履修の前年度3月下旬に所定の手続き（事前登録等）を行うこと。

(7) その他

「博物館実習」の一端として宿泊を伴う博物館の見学などを行う場合もあります。博物館の見学などに必要な交通費・宿泊費・食事代等の実費（5万～10万円）は、自己負担しなければなりません。

3. 農学部における博物館学芸員課程に関する科目

※開講学舎、開講曜講時は時間割を確認すること

(1) 必修科目

省令科目	農学部開講科目	単位数	配当年次
生涯学習概論	生涯学習概論	2	1
博物館概論	博物館概論	2	1
博物館経営論	博物館経営論	2	2
博物館資料論	博物館資料論	2	1

博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2
博物館展示論	博物館展示論	2	2
博物館教育論	博物館教育論	2	1
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2
博物館実習	博物館実習	3	3

(2) 必修科目

以下の科目の中から2科目4単位以上修得することを推奨します

分野	農学部開講科目	単位数	配当年次
自然科学史	科学史・農学史入門	2	2
化学	化学概論	2	2
	有機化学	2	1
	分析化学	2	3
	植物生理・生化学Ⅰ	2	1
生物学	生物物理学	2	3
	遺伝学Ⅰ	2	2 2024年度以前入学生は1年次配当
	身近な植物	2	1
	森林生態学	2	1
地学	地学概論	2	2
	農業気象学	2	3

特別研修講座・各種講座・試験

【1】矯正・保護課程

刑務所、少年院、少年鑑別所などで働く矯正職員や、犯罪をおかしたり非行をおこなった人たちの社会復帰を手助けする保護観察官等の専門職やボランティアを養成するために、実務に即した教育プログラムを提供しています。

受講要領・シラバス 2026[PDF]

矯正・保護課程

担当部署

矯正・保護総合センター事務局 深草学舎 4号館 2階

<各学舎申し込み窓口>

(深草)

Campus HUB (深草)

(大宮)

Campus HUB (大宮)

【2】法職課程

法律関係職および公務員（法律関係）を目指す学生に対し、法律科目を体系的かつ効率的に学習できる講座や最新の試験情報などを提供しています。また、法職カウンセラーが常駐し、学習方法や受験対策のアドバイスを行っています

法職課程

担当部署

法学部教務課 紫英館1階

<申し込み窓口>

Campus HUB (深草)

【3】キャリア支援講座

※受講希望者が少ない場合、開講できないことがあります。※開講する学舎が限定されている講座があります。

キャリアアップに向けた資格取得や公務員試験などの対策が必須の就職を支援するために、各種講座を開講しています。資格取得等に信頼と実績のある有名予備校等と提携し、一人ひとりの目標や夢の実現をバックアップします。

<資格系>

宅地建物取引士講座／旅行業務取扱管理者講座／社会福祉士国家試験講座

<語学系>

TOEIC®Listening&Reading Test対策講座

<就職対策>

公務員講座／エアライン就職対策講座

担当部署

キャリアセンター

深草学舎 5号館1階

大宮学舎 東翼2階

瀬田学舎 1号館1階

【4】手話講座

社会福祉法人全国手話研修センターとの連携事業により、「手話コミュニケーションコース」「手話ステップアップコース」「手話通訳コース」を実施します。「手話コミュニケーションコース」では全国手話検定試験2級レベルを、「手話ステップアップコース」では全国手話検定試験1級レベルを目指し、「手話通訳コース」では手話通訳者全国統一試験に備える力を養います。2024年度の講座実施については、実施が決定次第、ポータルサイト等で案内します。

担当部署

REC事務部 深草学舎 4号館2階

社会福祉法人全国手話研修センターホームページ